

内分泌疾患群の登録・評価に関する研究

分担研究者 藤枝憲二 旭川医科大学小児科教授

研究要旨

平成 17 年度に、小慢事業が法制化され、登録条件として治療を受けていることが必須となり、さらに登録病名に若干の変更が加えられている。従って、登録状況に変化が認められる可能性がある。そこで、本研究では、小児慢性内分泌疾患について、都道府県別・疾患別の登録状況を解析した。平成 17 年度において、患者登録数は以前とほぼ同様であったが、その内訳を見ると、新規登録数が減少し、継続登録数が増えていた。上位 20 位の全内分泌疾患群登録者に占める割合に変わりはなく約 96%であった。しかし、平成 17 年度について、それ以前と明らかに異なる順位を示したものが認められた。新たに上位 20 に入った疾患は、中枢性思春期早発症 (E22.8)、先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B)、汎下垂体機能低下症 (E23.0A)、副腎形成不全 (Q89.1) であった。また、上位疾患の中でも、甲状腺機能低下を来す疾患群、先天性副腎皮質過形成の各病型、思春期早発を来す疾患群は、登録数に変化が認められ、病型毎に細分化されて登録されるようになった。このことは、稀少疾患についての詳細な解析が可能となり、小慢データベースが解析ツールとしてさらに有用なものとなると考えられる。そのためには、正確な診断と漏れのない登録が必須である。上位疾患について自治体別に集計してみると、登録数は増えていないにもかかわらず、登録数の小児人口に占める割合が多い自治体が散見され、登録の偏りが明らかとなった。従って、登録に当たっては、しかるべき基準や根拠の記載が必要と思われる。また、登録が減少した疾患として、単純甲状腺腫 (E04.0)、甲状腺腺腫 (D34) があり、これらは治療を要しないことが多いためと推測された。内分泌疾患全体としては、都道府県別の登録状況は、平成 11 年～17 年度にかけては、登録合計人数は 30,000 人前後でほぼ一定しており、法制化による大きな影響はなかったと考えられる。また、都道府県別の登録患者数をその 20 歳未満人口における割合（対人口比＝登録数／20 歳未満人口×10⁻³）推移においても、ごく一部の自治体を除いては、法制化前後で極端な変化は認められず、小慢事業は均一に行われているものと考えられた。

A. 研究目的

小児慢性特定疾患治療研究事業（小慢事業）では統一されたフォーマットによる登録体制が平成 10 年度から開始され、稀少な慢性疾患の疫学的解析および縦断的解析に有用である。平成 17 年度に、小慢事業が法制化され、登録条件として治療を受けていることが必須となり、さらに登録病名に若干の変更が加えられた。昨年度の本研究により、登録症例の多い疾患である甲状腺疾患、副腎疾患、思春期早発症において、病型毎の登録数の増減が観察され、これまでのいわば広義の病名から、病型毎に細分化されて登録される傾向

が認められた。しかしながら、昨年度の解析時には、平成 17 年度のデータが未着である自治体が多く、法制化後の影響を真に反映したものとはいえないと考えられた。本年度の解析に用いたデータにおいて、未提出自治体は、平成 16 年度で 2 カ所、平成 17 年度で 4 カ所であり、法制化前後の異同を解析するために信頼性があるものと考えられる。そこで、本研究では、小児慢性内分泌疾患について、法制化前後での都道府県別・疾患別の登録状況の解析を実施し、その動向を詳細に検討した。

B. 研究方法

1) 都道府県別登録患者数の年次推移

平成 10 年度からの登録数を集計した。政令指定都市、中核都市の登録数は所属する都道府県にまとめて集計した。さらに、登録状況の違いを検討するため、各都道府県の 20 歳未満人口に対する登録数（対人口比＝登録数／20 歳未満人口×10⁻³）を算出した。20 歳未満人口は、統計局のホームページで公開されているデータを使用した。

2) 疾患毎の年次推移

I) 平成 16 年度～18 年度に関し、登録が多い上位 20 疾患について、男女比、年齢、新規・継続数を集計した。

II) 上位 20 疾患の中で、特に登録数に変化が認められた疾患群は、甲状腺疾患群、先天性副腎皮質過形成を来す疾患群、思春期早発を来す疾患群であり、これらに含まれる病型における登録者数の推移を、法制化前後の、特に平成 16 年度と平成 17 年度において検討した。

III) 疾患毎の都道府県別登録状況に異同や変遷があるかどうか明らかにするため、上位 20 疾患の中で、成長ホルモン分泌不全性低身長症を除いた、頻度の多い疾患である、甲状腺疾患（先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）、甲状腺機能低下症（E03.9）、慢性甲状腺炎（E06.3）、甲状腺機能亢進症（E05.0））、副腎疾患（先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）、21 水酸化酵素欠損症（E25.0A）、先天性副腎リポイド過形成症（E25.0B））、思春期早発症（E22.8）、中枢性思春期早発症（E22.8A）、ターナー症候群（Q96）およびプラダー・ヴィルリ症候群（Q87.1A）について、方法 1 と同様に解析した。

C. 研究結果

1) 都道府県別登録患者数の年次推移（表 1—1）

解析に用いたデータにおいて、未提出自治体あるいはデータに不具合のある自治体は*印で示した。平成 17 年度の全登録数は 30,009 名であり、平成 11 年～16 年度とほぼ同様で一定していた。都道府県別に、登録者数をみると法制化後、増加した自治体は東京都であり、減少した自治体は大阪府と福岡県であった。

都道府県別の登録患者数をその 20 歳未満人口にお

ける割合（対人口比＝登録数／20 歳未満人口×10⁻³）の過去 5 年間の推移を表 1—2 に示す。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上（赤色）が続いているのは、岡山県、広島県、沖縄県であり、-1.5SD 未満が続いているのは、茨城県であった。法制化後、明らかに患者数が増加したのは、山口県と宮崎県であり、明らかに減少した自治体はなかった。上記のようなバラツキがあるものの、全体としては自治体毎に大きな偏りは認められなかった。

2) 疾患毎の年次推移

I) 登録が多い上位 20 疾患（表 2）

平成 16 年度から平成 18 年度について、登録が多い上位 20 疾患を表 2 に示した。平成 17 年度より登録区分に「再開」が加わった。これらの 20 疾患について、平成 10 年度から平成 16 年度にかけては大きな変動はないことは、昨年度に報告した。特に上位 8 疾患は順位が同じであり、11 位までは順位の変動はあるが疾患構成は同じであった。

平成 16 年度と平成 17 年度で全登録数に大差がないことは、先に述べたとおりであるが、その内訳を見ると、新規登録数が減少し、継続登録数が増えていた。これは、登録者数が最も多い成長ホルモン分泌不全性低身長症（E23.0E）において、明らかであるが、これを除く全ての内分泌疾患でみた場合にも同様の傾向であった（図 1）。

法制化前後において、上位 20 位の内分泌疾患群患者の全体に占める割合に変わりはなく、約 96%であった。

しかし、平成 17 年度について、それ以前と明らかに異なる順位を示したものが認められた。新たに上位 20 に入った疾患は、中枢性思春期早発症（E22.8）、先天性副腎リポイド過形成症（E25.0B）、汎下垂体機能低下症（E23.0A）、副腎形成不全（Q89.1）であった。これらの中で、中枢性思春期早発症（E22.8）と汎下垂体機能低下症（E23.0A）は新たに追加された疾患である。一方、上位 20 から外れた疾患は、単純甲状腺腫（E04.0）、甲状腺腺腫（D34）、原発性性腺機能低下症（男）（E29.1）、原発性性腺機能低下症（女）（E28.3）であった。このうち、甲状腺腺

腫（D34）は登録自体がなくなり、単純甲状腺腫（E04.0）が甲状腺腺腫に病名変更となった。単純甲状腺腫（E04.0）は、患者数が28名と明らかに減少したが、原発性性腺機能低下症（男）（E29.1）は21位、原発性性腺機能低下症（女）（E28.3）は22位であり、これらは相対的に順位が低下した。

上位疾患の中でも、甲状腺機能低下を来す疾患群、先天性副腎皮質過形成の各病型、思春期早発を来す疾患群は、登録数に変化が認められ、病型毎に細分化されて登録されるようになった。

Ⅱ）法制化後に登録の細分化が進んだ疾患群についての解析（図2）

1. 甲状腺機能低下を来す疾患群（図2-1）

甲状腺機能低下症（E03.9）が減少し、先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）、甲状腺刺激ホルモン分泌低下症（E23.0D）、先天性ヨード欠乏症候群（E00.1）および処置後甲状腺機能低下症（E03.2）が増加した。慢性甲状腺炎（E06.3）の登録数はほぼ同様であった。登録数全体としては、大きな変化は認めなかった。

2. 先天性副腎皮質過形成を来す疾患群（図2-2）

先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）および副腎性器症候群（E25.9）が減少し、21水酸化酵素欠損症（E25.0A）、先天性副腎リポイド過形成（E25.0B）、11β水酸化酵素欠損症（E25.0D）および3β水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症（E25.0C）が増加した。登録数全体としては、大きな変化は認めなかった。

3. 思春期早発を来す疾患群（図2-3）

思春期早発症（E22.8）が減少し、中枢性思春期早発症（E22.8A）および仮性思春期早発症（E30.1A）が増加した。登録数全体としては、大きな変化は認めなかった。

Ⅱ）上位疾患の都道府県別登録状況の推移

Ⅱ-A）先天性甲状腺機能低下症（E03.1A）（表Ⅱ-A-1 および2）

平成16年度から17年度にかけて、多くの自治体で患者数が増加した。対人口比において、全国平均の+1.5SD以上（赤色）が続いているのは、新潟県と鹿

児島県であった。一方、-1.5SD未満が続いている自治体はなかった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

Ⅱ-B）甲状腺機能低下症（E03.9）（表Ⅱ-B-1 および2）

平成16年度から17年度にかけて、全ての自治体において患者数が減少した。また、対人口比では、滋賀県、広島県、高知県、熊本県において、登録数の割合が上昇していたが、登録実数自体は上昇しておらず、他の自治体における登録数の減少による相対的な変化である。

Ⅱ-C）慢性甲状腺炎（E06.3）（表Ⅱ-C-1 および2）

平成16年度から17年度にかけて、それまでと比較し登録数に大きな変化は認められなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD以上（赤色）が続いているのは、島根県および高知県であった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

Ⅱ-D）甲状腺機能亢進症（E05.0）（表Ⅱ-D-1 および2）

全体の登録数として、平成16年度から17年度にかけて、約10%上昇した。極端に登録数の減少した自治体は認めなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD以上（赤色）が続いているのは、佐賀県、宮崎県、鹿児島県であった。法制化前後で、自治体毎に小児人口に占める割合に偏りは認められなかった。

Ⅱ-E）先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）（表Ⅱ-E-1 および2）

平成16年度から17年度にかけて、患者数の増加した自治体はなく、さらに多くの自治体で登録数が0となった。また、平成17年度の対人口比では、山梨県、滋賀県、広島県および高知県における登録数の割合が多いが、登録実数自体は上昇しておらず、他の自治体における登録数の減少による相対的な変化である。

Ⅱ-F）21水酸化酵素欠損症（E25.0A）（表Ⅱ-F-1 および2）

平成16年度から17年度にかけて、多くの自治体で患者数が増加した。新規登録数以上に、総登録数が

増加しており、先に述べた先天性副腎皮質過形成から登録しなおされたものと考えられる。高知県、鹿児島県での小児人口に占める割合の増加が著しいが、これは後に述べる先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B) の登録が、この両県では認められないことと対比される。

II-G) 先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B) (表 II-G-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、多くの自治体で患者数が増加した。本疾患と、先天性副腎皮質過形成 (E25.0) および 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A) を合わせると、平成 16 年度の E25.0 の登録数とほぼ一致する。

II-H) 思春期早発症 (E22.8) (表 II-H-1 および 2)

平成 16 年度から 17 年度にかけ、多くの自治体で患者数が低下した。極端に増加の見られた自治体はなかった。対人口比において、全国平均の+1.5SD 以上 (赤色) が続いているのは、山梨県、鳥取県、広島県および沖縄県であった。

II-I) 中枢性思春期早発症 (E22.8A) (表 II-I-1 および 2)

平成 17 年度から登録病名となった疾患である。思春期早発症 (E22.8) における、対人口比の多い 4 県の中で、沖縄県は同様に全国平均の+1.5SD 以上 (赤色) であり、また、宮城県と山形県での登録が多い。富山県、大分県では登録者はなかった。

II-J) ターナー (Turner) 症候群 (Q96) (表 II-J-1 および 2)

登録患者数の推移に一定の傾向は認められず、大きな変化はなかった。自治体毎に登録数の小児人口に占める割合に著しい偏りはなかった。

II-K) プラダー・ウィルリ (Prader-Willi) 症候群 (Q87.1A) (表 II-K-1 および 2)

登録患者数の推移に一定の傾向は認められず、大きな変化はなかった。自治体毎に登録数の小児人口に占める割合に著しい偏りはなかった。

D. 考察

今年度の解析において、小慢事業が法制化された平成 17 年度とそれ以前との相違を初めて明らかにする

ことができた。

第一に、法制化後において、内分泌疾患の登録には治療を行うことが前提とされたが、登録総数に変化は認められなかった。しかし、新規登録数は減少しており、今後同様の傾向が続けば、登録数は減少していく可能性がある。また、治療が不要と考えられる単純甲状腺腫 (E04.0) は、実際登録数が激減した。一方、甲状腺機能亢進症 (E05.0) は登録数が増加しており、甲状腺腫 (D34) などからの移行が推測され、個々の症例の解析並びに来年度以降の継続した解析が必要と思われた。

第二は、甲状腺疾患、先天性副腎疾患、思春期早発において病型毎に細分化された疾患名で登録されるようになったことが挙げられる。すなわち、甲状腺疾患においては、甲状腺機能低下症 (E03.9) の登録数が減少し、先天性甲状腺機能低下症 (E03.1A)、甲状腺刺激ホルモン分泌低下症 (E23.0D)、先天性ヨード欠乏症候群 (E00.1) および処置後甲状腺機能低下症 (E03.2) が増加した。副腎疾患においては、先天性副腎 (皮質) 過形成 (E25.0) の登録数が減少し、代わりに 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A) および先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B) が増加した。また、副腎形成不全 (Q89.1) も上位 20 疾患に入ったが、先天性副腎皮質過形成との関係については、今後解析する必要があると思われる。思春期早発症 (E22.8) については、新たに中枢性思春期早発症 (E22.8A) が登録病名として加わり、前者の約半数が後者に移行した。このように、病型毎に疾患が細分化されると、稀少疾患についての詳細な解析が可能となり、小慢データベースが解析ツールとしてさらに有用なものとなると考えられる。一方で、解析に足るデータベースとなるためには、正確な診断と漏れのない登録が必須である。前者について、今回指摘しうる問題点の一つとしては、先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B) の登録数が非常に多いことが上げられる。1999 年の厚生省の副腎ホルモン産生異常に関する調査研究の全国疫学調査によると、先天性副腎リポイド過形成症は先天性副腎過形成の病型の約 5.5% と報告されているが、今回の登録数はそれを遙かに上回るも

のであった。従って、登録に当たっては、しかるべき基準や根拠の記載が必要と思われる。

登録漏れや登録名の統一がなされているかどうか確認するためには、今回おこなった都道府県別の経年的登録状況の解析が有用であろう。実際、今回の解析により、登録数は増えていないのにもかかわらず、登録数の小児人口に占める割合が多い自治体が散見され、登録の偏りが明らかとなった。

今回、法制化前後で認められた登録状況の異同が、今後も同様の傾向となるのか、あるいはさらに病型毎の登録が進み、登録疾患の割合に変化が起こってくるのか来年度以降もしばらくは継続した解析が必要であろう。さらに、都道府県別に登録年齢や発症年齢を

解析することも今後の課題とし、より有用なデータベースとなるための方向性を提案していく必要がある。

E. 研究発表

論文発表

なし

学会発表

なし

F. 知的所有権の取得状況

特許取得、実用新案登録、その他

なし

表 1-1 都道府県別登録患者数の推移

	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
北海道	1,334	1,233	1,599	1,587	1,618	1,567	1,317	1,450	1,152
青森県	334	325	319	315	312	53	68	192	301
岩手県	353	376	378	387	388	391	354	378	0*
宮城県	857	739	883	1,217	806	861	808	859	800
秋田県	203	255	279	223	299	237	260	293	275
山形県	265	315	307	325	319	307	328	329	311
福島県	484	486	527	541	523	547	555	516	519
茨城県	542	481	554	371	286	268	74	256	214
栃木県	344	140	289	380	387	385	304	272*	144*
群馬県	38	248	300	332	275	72	387	385	391
埼玉県	293	1,404	1,429	1,371	1,331	1,219	1,404	1,503	1,468
千葉県	691	1,010	1,060	596	1,020	765	802	436**	386**
東京都	1,883	1,784	1,780	1,796	1,553	1,854	1,764	2,111	2,088
神奈川県	772	1,509	2,152	2,099	1,487	1,495	519*	1214*	1095*
新潟県	382	635	644	671	659	687	595	646	565
富山県	367	142	401	443	375	353	348	313	333
石川県	119	245	190	139	204	212	230	286	288
福井県	190	189	180	183	187	212	238	153	0*
山梨県	208	214	216	219	255	256	271	283	277
長野県	391	98	223	284	263	322	369	566	371
岐阜県	281	202	352	452	460	432	388	458	451
静岡県	1,188	643	1,212	1,167	896	1,277	633	1,488	1,227
愛知県	889	2,193	2,067	2,109	1,954	2,039	1,990	1,858	1,688
三重県	376	195	501	477	546	532	38	251	493
滋賀県	477	490	474	481	514	524	495	519	449
京都府	764	794	669	645	157	677	879	742	312*
大阪府	2,366	2,658	2,589	2,605	2,630	2,862	3,039	2,173	915*
兵庫県	325	1,581	748	1,633	1,662	272	1,296	1,497	1,396
奈良県	416	470	411	454	489	516	544	515	501
和歌山県	356	332	324	305	333	319	87*	320	221
鳥取県	112	129	133	158	160	150	153	152	101
島根県	221	231	256	82	180	311	276	155	268
岡山県	527	571	624	676	757	767	789	834	826
広島県	926	1,228	1,247	1,245	1,418	1,164	1,249	1,259	1,024
山口県	370	406	364	445	477	524	423	649	550
徳島県	149	145	158	166	0	169	159	141	127
香川県	393	367	396	400	361	364	366	113*	145*
愛媛県	368	401	387	440	467	471	467	414	444
高知県	202	259	275	275	254	254	226	232	106*
福岡県	855	1,201	932	1,129	1,111	1,108	1,140	803	893
佐賀県	26	232	36	227	244	265	259	218	175
長崎県	470	481	490	439	479	503	164	266	148*
熊本県	533	556	612	553	560	523	300	542	0*
大分県	294	304	339	320	312	181	198	168	331
宮崎県	410	397	339	379	350	366	363	383	418
鹿児島県	247	321	453	271	603	636	673	646	649
沖縄県	538	563	592	602	662	723	795	772	816
合計	24,129	29,178	30,690	31,614	30,583	29,992	28,384	30,009	25,652

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

* データ未着あり。**データに不具合あり。

表1-2 都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(登録数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
 都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(登録数/20歳未満人口×10⁻³)の推移

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	登録数	対人口比								
北海道	1618	1.50	1567	1.50	1317	1.30	1450	1.43	1152	1.17
青森県	312	1.03	53	0.18	68	0.24	192	0.70	301	1.13
岩手県	388	1.36	391	1.41	354	1.30	378	1.44	0	0.00
宮城県	806	1.66	861	1.81	808	1.74	859	1.86	800	1.77
秋田県	299	1.36	237	1.13	260	1.29	293	1.48	275	1.43
山形県	319	1.29	307	1.28	328	1.40	329	1.43	311	1.38
福島県	523	1.14	547	1.22	555	1.27	516	1.22	519	1.24
茨城県	286	0.46	268	0.45	74	0.13	256	0.44	214	0.37
栃木県	387	0.93	385	0.95	304	0.76	272	0.69	144	0.37
群馬県	275	0.67	72	0.18	387	0.99	385	0.97	391	1.01
埼玉県	1331	0.95	1219	0.88	1404	1.03	1503	1.11	1468	1.09
千葉県	1020	0.88	765	0.67	802	0.71	436	0.39	386	0.35
東京都	1553	0.75	1854	0.87	1764	0.82	2111	1.06	2088	1.03
神奈川県	1487	0.90	1495	0.90	519	0.31	1214	0.75	1095	0.68
新潟県	659	1.35	687	1.46	595	1.31	646	1.42	565	1.27
富山県	375	1.75	353	1.70	348	1.72	313	1.56	333	1.67
石川県	204	0.85	212	0.91	230	1.00	286	1.25	288	1.28
福井県	187	1.07	212	1.25	238	1.43	153	0.94	0	0.00
山梨県	255	1.38	256	1.43	271	1.55	283	1.62	277	1.62
長野県	263	0.58	322	0.74	369	0.87	566	1.34	371	0.89
岐阜県	460	1.05	432	1.01	388	0.93	458	1.10	451	1.09
静岡県	896	1.17	1277	1.71	633	0.87	1488	2.03	1227	1.70
愛知県	1954	1.32	2039	1.39	1990	1.36	1858	1.28	1688	1.16
三重県	546	1.44	532	1.44	38	0.11	251	0.69	493	1.37
滋賀県	514	1.71	524	1.77	495	1.69	519	1.78	449	1.54
京都府	157	0.31	677	1.36	879	1.78	742	1.52	312	0.65
大阪府	2630	1.54	2862	1.68	3039	1.79	2173	1.32	915	0.56
兵庫県	1662	1.48	272	0.25	1296	1.20	1497	1.38	1396	1.30
奈良県	489	1.69	516	1.84	544	2.01	515	1.86	501	1.85
和歌山県	333	1.59	319	1.57	87	0.45	320	1.64	221	1.15
鳥取県	160	1.26	150	1.22	153	1.29	152	1.30	101	0.88
島根県	180	1.22	311	2.19	276	2.03	155	1.12	268	1.99
岡山県	757	1.90	767	1.96	789	2.06	834	2.19	826	2.20
広島県	1418	2.47	1164	2.07	1249	2.26	1259	2.28	1024	1.87
山口県	477	1.63	524	1.86	423	1.55	649	2.41	550	2.07
徳島県	0	0.00	169	1.09	159	1.05	141	0.96	127	0.88
香川県	361	1.81	364	1.86	366	1.90	113	0.60	145	0.77
愛媛県	467	1.60	471	1.67	467	1.72	414	1.51	444	1.65
高知県	254	1.66	254	1.70	226	1.55	232	1.65	106	0.77
福岡県	1111	1.08	1108	1.10	1140	1.16	803	0.82	893	0.92
佐賀県	244	1.24	265	1.39	259	1.40	218	1.21	175	0.98
長崎県	479	1.49	503	1.62	164	0.55	266	0.90	148	0.51
熊本県	560	1.42	523	1.37	300	0.80	542	1.48	0	0.00
大分県	312	1.27	181	0.76	198	0.85	168	0.74	331	1.46
宮崎県	350	1.38	366	1.50	363	1.54	383	1.65	418	1.84
鹿児島県	603	1.59	636	1.72	673	1.87	646	1.84	649	1.88
沖縄県	662	1.86	723	2.07	795	2.32	772	2.24	816	2.39
合計	30357	1.20	29766	1.20	28384	1.16	30009	1.25	25652	1.07

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
 網掛けはデータ不足を示す。

表2 上位20疾患の患者数、男女比、年齢、新規・継続数(平成16年度～18年度)

平成16年度											
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	11,160	7,363	3,747	1.97	10.8±3.4	2,558	60	8,488	54	39.4
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	4,213	1,856	2,316	0.80	6.8±5.0	622	59	3,504	28	14.9
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	2,955	466	2,472	0.19	14.3±3.0	739	39	2,156	21	10.4
4 E22.8	思春期早発症	1,926	268	1,648	0.16	10.1±3.1	451	8	1,459	8	6.8
5 E03.9	甲状腺機能低下症	1,800	729	1,053	0.69	8.6±5.4	365	10	1,410	15	6.4
6 E06.3	慢性甲状腺炎	1,020	91	923	0.10	13.8±3.0	228	7	778	7	3.6
7 Q96	ターナー(Turner)症候群	960	11	942	0.01	11.6±4.1	159	11	787	3	3.4
8 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	816	405	411	0.99	8.3±5.2	73	6	727	10	2.9
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	458	243	210	1.16	8.3±5.0	90	5	358	5	1.6
10 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	303	169	133	1.27	11.1±4.6	66	0	237	0	1.1
11 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	301	155	146	1.06	12.1±4.9	56	4	240	1	1.1
12 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	174	95	77	1.23	10.4±5.3	32	4	136	2	0.6
13 E24.9B	周期性ACTH症候群	172	82	89	0.92	10.4±4.0	34	0	137	1	0.6
14 E04.0	単純甲状腺腫	150	31	119	0.26	13.4±3.1	26	0	123	1	0.5
15 E29.1	原発性性腺機能低下症(男)	149	148	1	148.0	11.1±5.0	27	0	121	1	0.5
16 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	129	77	50	1.54	11.6±4.4	12	0	116	1	0.5
17 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	125	103	20	5.15	8.6±5.1	16	0	108	1	0.4
18 D34	甲状腺腫	103	22	78	0.28	12.9±3.5	43	0	59	1	0.4
19 E28.3	原発性性腺機能低下症(女)	77	6	70	0.09	13.3±4.2	25	0	50	2	0.3
20 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	66	24	41	0.59	8.4±4.7	7	4	55	0	0.2
20位までの小計		27,057	12,344	14,546	0.85	10.4±4.6	5,629	217	21,049	162	95.5
総計		28,339	13,015	15,145	0.86	10.4±4.6	5,872	221	22,072	174	100

登録疾患数:105

平成17年度												
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	11,902	7,704	3,973	1.94	10.7±3.3	1,777	62	9,915	129	19	39.7
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	6,005	2,643	3,223	0.82	7.6±5.2	674	81	5,130	81	39	20.0
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	3,484	556	2,839	0.20	14.7±3.2	668	20	2,670	83	43	11.6
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	1,136	10	1,091	0.01	12.1±4.1	126	7	980	16	7	3.8
5 E22.8	思春期早発症	1,035	146	871	0.17	9.8±2.6	225	11	779	18	2	3.5
6 E06.3	慢性甲状腺炎	988	96	871	0.11	14.0±3.3	151	6	801	10	20	3.3
7 E22.8A	中枢性思春期早発症	788	118	656	0.18	9.7±2.8	176	10	580	15	7	2.6
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	564	264	290	0.91	9.6±5.5	40	14	495	7	8	1.9
9 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	492	279	198	1.41	12.1±4.5	55	3	425	7	2	1.6
10 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	412	217	189	1.15	9.2±4.8	47	5	348	5	7	1.4
11 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	371	203	159	1.28	11.7±5.0	62	5	294	4	6	1.2
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	247	96	140	0.69	8.9±5.8	20	1	214	8	4	0.8
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	240	120	117	1.03	11.0±6.6	25	4	207	4	0	0.8
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	199	96	92	1.04	13.5±5.2	22	3	166	5	3	0.7
15 E03.9	甲状腺機能低下症	193	59	133	0.44	10.3±5.5	9	0	183	0	1	0.6
16 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	162	85	74	1.15	12.0±4.6	24	1	132	5	0	0.5
17 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	154	128	21	6.10	8.9±5.1	23	1	127	3	0	0.5
18 E24.9B	周期性ACTH症候群	149	71	76	0.93	11.2±4.2	20	1	125	2	1	0.5
19 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	127	61	66	0.92	11.2±4.2	3	0	124	0	0	0.4
20 Q89.1	副腎形成不全	120	85	30	2.83	8.8±5.3	14	1	101	2	2	0.4
20位までの小計		28,768	13,037	15,109	0.86	10.7±4.6	4,161	236	23,796	404	171	95.9
総計		29,984	13,626	15,712	0.87	10.7±4.6	4,362	246	24,767	424	185	100

登録疾患数:99

平成18年度												
ICD	疾患名	総患者数	男	女	性比	年齢	新規	転入	継続	再開	その他	%
1 E23.0E	成長ホルモン分泌不全性低身長症	10,142	6,613	3,420	1.93	10.8±3.3	1,351	95	8,605	65	26	39.6
2 E03.1A	先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)	5,315	2,322	2,906	0.80	8.0±5.2	550	69	4,619	34	43	20.7
3 E05.0	甲状腺機能亢進症	2,966	467	2,442	0.19	15.0±3.1	523	22	2,366	27	28	11.6
4 Q96	ターナー(Turner)症候群	980	4	959	0.00	12.3±4.2	104	6	856	7	7	3.8
5 E06.3	慢性甲状腺炎	898	98	783	0.13	14.2±3.5	137	6	745	6	4	3.5
6 E22.8	思春期早発症	775	102	662	0.15	9.7±2.4	164	2	606	2	1	3.0
7 E22.8A	中枢性思春期早発症	771	112	650	0.17	9.6±2.5	223	5	537	3	3	3.0
8 E25.0A	21水酸化酵素欠損症	636	305	323	0.94	9.8±5.5	31	2	594	4	5	2.5
9 Q87.1A	ブラーダー・ウィルリ(Prader-Willi)症候群	386	204	177	1.15	9.4±5.1	51	5	322	1	7	1.5
10 E23.2	下垂体性(真性)尿崩症	368	192	165	1.16	12.2±4.9	52	0	313	3	0	1.4
11 E23.0A	下垂体機能低下(不全)症	271	135	128	1.05	12.6±5.4	44	3	220	3	1	1.1
12 E25.0B	先天性副腎リポイド過形成	217	91	114	0.80	8.6±5.9	22	2	193	0	0	0.8
13 E20.0	特発性副甲状腺機能低下症	210	110	98	1.12	11.5±5.1	21	2	182	3	2	0.8
14 E23.0A	汎下垂体機能低下症	202	102	95	1.07	13.6±5.2	26	3	173	0	0	0.8
15 E20.1	仮性副甲状腺機能低下症	154	77	75	1.03	12.3±4.8	13	1	138	0	2	0.6
16 E24.9B	周期性ACTH症候群	124	53	70	0.76	11.1±4.2	12	1	111	0	0	0.5
17 N25.1	腎性尿崩症(抗利尿ホルモン不応症)	113	95	16	5.94	9.2±5.0	7	1	105	0	0	0.4
18 Q89.1	副腎形成不全	93	75	17	4.41	8.7±5.4	9	0	83	0	1	0.4
19 E28.3	原発性性腺機能低下症(女)	86	2	82	0.02	16.2±2.5	19	0	64	0	3	0.3
20 E25.0	先天性副腎(皮質)過形成	77	37	40	0.93	11.3±5.3	0	0	76	0	1	0.3
20位までの小計		24,784	11,196	13,222	0.85	10.9±4.6	3,359	225	20,908	158	134	96.7
総計		25,636	11,627	13,627	0.85	10.9±4.6	3,484	232	21,616	162	142	100

登録疾患数:88

図1 法制化前後における内分泌疾患（成長ホルモン分泌不全性低身長症を除く）の登録者数

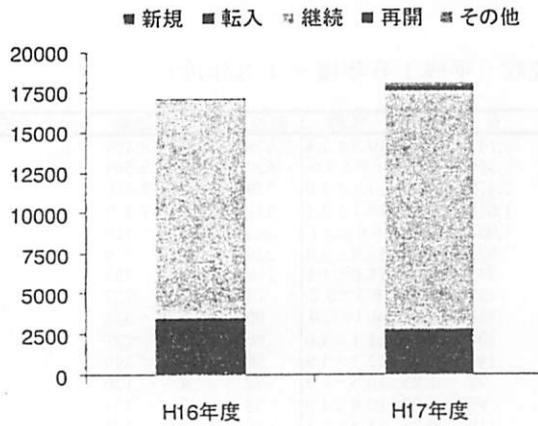


図2 法制化後に登録の細分化が進んだ疾患群における登録数（人）の推移

図2-1

【甲状腺機能低下を来す疾患群】

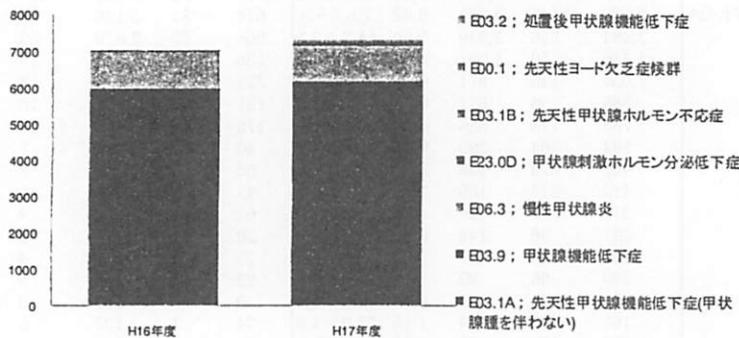


図2-2

【先天性副腎過形成を来す疾患群】

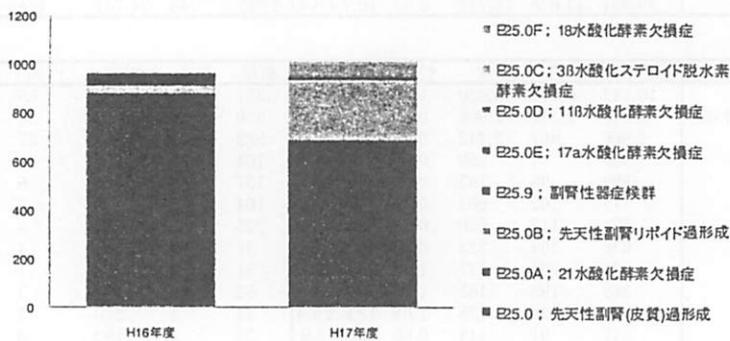
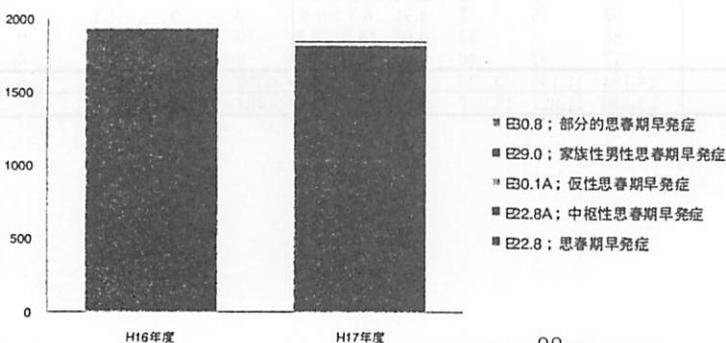


図2-3

【思春期早発を来す疾患群】



表Ⅱ-A-1 先天性甲状腺機能低下症 (E03.1A)
 都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
 E03.1A 先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規								
北海道	323	35	310	32	247	38	353	28	265	15
青森県	38	2	11	9	6	1	56	4	61	6
岩手県	91	10	88	10	87	15	109	9	0	0
宮城県	139	25	148	22	152	27	176	25	191	19
秋田県	36	9	34	8	41	7	52	4	54	2
山形県	66	11	67	8	75	7	80	5	77	9
福島県	44	6	47	10	45	9	46	1	45	3
茨城県	11	11	10	10	16	13	70	4	62	5
栃木県	39	2	36	5	28	1	49	10	23	6
群馬県	26	0	8	6	42	1	56	3	65	8
埼玉県	132	20	127	14	153	18	305	19	288	22
千葉県	196	43	228	28	183	22	82	8	76	4
東京都	92	16	50	14	172	23	344	32	351	40
神奈川県	85	10	201	20	89	8	237	24	216	25
新潟県	177	12	183	11	176	19	226	19	199	5
富山県	50	9	47	5	52	5	54	34	54	5
石川県	41	5	30	5	34	5	69	32	74	15
福井県	18	3	31	4	26	0	47	8	0	0
山梨県	28	3	32	4	35	7	42	5	49	10
長野県	62	8	80	11	76	11	158	25	155	27
岐阜県	59	11	53	4	43	3	82	3	80	8
静岡県	93	9	175	20	68	17	294	18	200	23
愛知県	151	17	156	17	141	19	204	27	232	37
三重県	51	10	51	10	8	5	21	0	57	4
滋賀県	75	9	91	15	76	7	82	8	75	1
京都府	21	5	99	21	128	28	193	5	75	2
大阪府	401	55	349	48	386	78	352	30	174	21
兵庫県	206	31	34	32	176	22	262	25	238	19
奈良県	57	10	63	11	52	13	101	15	100	6
和歌山県	33	2	30	2	4	1	51	3	42	1
鳥取県	18	2	15	2	15	5	30	2	28	3
島根県	26	4	44	10	32	5	56	8	62	1
岡山県	73	9	71	9	70	8	115	8	112	5
広島県	181	35	104	9	212	32	184	23	198	13
山口県	35	2	52	7	31	6	105	10	83	7
徳島県	0	0	17	0	17	0	16	1	15	1
香川県	34	3	35	2	40	7	13	2	14	1
愛媛県	37	11	43	6	54	13	90	17	111	16
高知県	16	2	13	0	13	2	21	2	9	3
福岡県	220	47	227	40	248	25	287	60	312	29
佐賀県	60	4	67	9	69	9	43	3	47	5
長崎県	89	12	93	16	31	2	60	16	37	6
熊本県	104	13	100	4	55	12	135	16	0	0
大分県	81	8	49	8	66	17	69	10	101	8
宮崎県	48	10	52	11	52	3	68	14	72	6
鹿児島県	215	42	261	38	281	26	315	33	360	61
沖縄県	97	16	25	3	110	20	145	16	176	37
合計	4,175	619	4,137	590	4,213	622	6,005	674	5,315	550

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
 灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-A-2 先天性甲状腺機能低下症 (E03.1A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E03.1A 先天性甲状腺機能低下症(甲状腺腫を伴わない)

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	323	0.300	310	0.297	247	0.243	353	0.349	265	0.269
青森県	38	0.126	11	0.038	6	0.022	56	0.204	61	0.228
岩手県	91	0.318	88	0.317	87	0.320	109	0.416	0	0.000
宮城県	139	0.285	148	0.311	152	0.328	176	0.381	191	0.424
秋田県	36	0.164	34	0.162	41	0.204	52	0.263	54	0.281
山形県	66	0.266	67	0.279	75	0.321	80	0.348	77	0.342
福島県	44	0.096	47	0.105	45	0.103	46	0.109	45	0.108
茨城県	11	0.018	10	0.017	16	0.028	70	0.120	62	0.108
栃木県	39	0.093	36	0.089	28	0.070	49	0.125	23	0.059
群馬県	26	0.063	8	0.020	42	0.108	56	0.142	65	0.167
埼玉県	132	0.094	127	0.092	153	0.112	305	0.225	288	0.215
千葉県	196	0.168	228	0.198	183	0.162	82	0.073	76	0.068
東京都	92	0.044	50	0.024	172	0.080	344	0.173	351	0.174
神奈川県	85	0.051	201	0.121	89	0.053	237	0.147	216	0.134
新潟県	177	0.363	183	0.388	176	0.387	226	0.496	199	0.446
富山県	50	0.234	47	0.226	52	0.257	54	0.269	54	0.270
石川県	41	0.172	30	0.128	34	0.148	69	0.301	74	0.329
福井県	18	0.103	31	0.182	26	0.157	47	0.288	0	0.000
山梨県	28	0.151	32	0.179	35	0.200	42	0.240	49	0.287
長野県	62	0.138	80	0.183	76	0.179	158	0.375	155	0.372
岐阜県	59	0.135	53	0.124	43	0.103	82	0.196	80	0.194
静岡県	93	0.122	175	0.235	68	0.094	294	0.405	200	0.278
愛知県	151	0.102	156	0.106	141	0.096	204	0.141	232	0.160
三重県	51	0.135	51	0.138	8	0.022	21	0.058	57	0.158
滋賀県	75	0.250	91	0.307	76	0.259	82	0.282	75	0.258
京都府	21	0.042	99	0.198	128	0.259	193	0.395	75	0.156
大阪府	401	0.234	349	0.205	386	0.228	352	0.213	174	0.106
兵庫県	206	0.183	34	0.031	176	0.163	262	0.242	238	0.221
奈良県	57	0.197	63	0.225	52	0.193	101	0.365	100	0.369
和歌山県	33	0.157	30	0.148	4	0.021	51	0.262	42	0.218
鳥取県	18	0.142	15	0.122	15	0.126	30	0.256	28	0.243
島根県	26	0.176	44	0.310	32	0.235	56	0.403	62	0.459
岡山県	73	0.183	71	0.182	70	0.183	115	0.302	112	0.299
広島県	181	0.315	104	0.185	212	0.384	184	0.333	198	0.362
山口県	35	0.120	52	0.184	31	0.114	105	0.390	83	0.312
徳島県	0	0.000	17	0.110	17	0.112	16	0.109	15	0.103
香川県	34	0.170	35	0.179	40	0.207	13	0.069	14	0.074
愛媛県	37	0.127	43	0.152	54	0.199	90	0.328	111	0.413
高知県	16	0.105	13	0.087	13	0.089	21	0.149	9	0.066
福岡県	220	0.214	227	0.225	248	0.251	287	0.291	312	0.321
佐賀県	60	0.306	67	0.351	69	0.373	43	0.239	47	0.264
長崎県	89	0.276	93	0.299	31	0.104	60	0.203	37	0.128
熊本県	104	0.265	100	0.261	55	0.147	135	0.368	0	0.000
大分県	81	0.331	49	0.205	66	0.283	69	0.305	101	0.447
宮崎県	48	0.190	52	0.213	52	0.220	68	0.293	72	0.317
鹿児島県	215	0.567	261	0.705	281	0.781	315	0.895	360	1.043
沖縄県	97	0.272	25	0.071	110	0.321	145	0.420	176	0.516
合計	4,175	0.165	4,137	0.166	4,213	0.172	6,005	0.249	5,315	0.223

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-B-1 甲状腺機能低下症 (E03.9)
都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E03.9 甲状腺機能低下症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	49	9	51	6	42	6	5	0	0	0
青森県	11	0	4	4	6	3	0	0	0	0
岩手県	13	3	16	1	16	3	0	0	0	0
宮城県	13	4	26	15	23	11	0	0	0	0
秋田県	17	4	10	1	13	2	3	0	0	0
山形県	12	1	9	2	16	7	0	0	0	0
福島県	12	2	12	4	14	5	0	0	0	0
茨城県	5	5	1	1	9	8	1	0	0	0
栃木県	19	4	24	9	20	5	0	0	0	0
群馬県	21	0	4	3	25	6	3	0	0	0
埼玉県	145	34	166	27	173	15	12	1	2	0
千葉県	37	7	33	9	43	5	0	0	0	0
東京都	136	25	250	47	118	10	0	0	0	0
神奈川県	29	5	66	3	32	5	7	0	4	0
新潟県	16	1	20	7	21	8	3	0	3	0
富山県	16	0	14	2	14	3	3	0	4	0
石川県	19	3	31	6	33	5	0	0	0	0
福井県	11	0	8	5	12	4	0	0	0	0
山梨県	6	3	9	2	7	0	2	0	2	0
長野県	42	10	42	8	77	23	0	0	0	0
岐阜県	22	5	27	4	19	7	0	0	0	0
静岡県	74	1	88	15	24	10	0	0	0	0
愛知県	85	15	107	23	99	18	20	1	9	0
三重県	13	1	14	3	1	1	0	0	0	0
滋賀県	33	6	38	6	38	6	25	0	16	0
京都府	12	3	79	7	108	34	0	0	0	0
大阪府	78	16	147	30	150	32	6	0	1	0
兵庫県	84	21	9	8	58	9	0	0	1	0
奈良県	40	6	38	11	52	18	1	1	0	0
和歌山県	22	3	25	5	6	1	0	0	0	0
鳥取県	8	2	8	0	8	0	0	0	0	0
島根県	19	4	43	6	36	6	0	0	0	0
岡山県	44	6	47	11	44	11	0	0	0	0
広島県	116	21	64	5	79	14	66	4	15	0
山口県	34	1	27	4	18	4	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	15	2	13	1	16	3	0	0	0	0
愛媛県	55	14	70	18	62	3	0	0	0	0
高知県	17	1	23	3	19	1	13	2	6	0
福岡県	64	11	64	4	67	11	0	0	0	0
佐賀県	9	1	5	1	8	1	6	0	1	0
長崎県	26	3	24	3	11	2	0	0	0	0
熊本県	35	11	38	8	33	10	17	0	0	0
大分県	5	0	11	10	3	2	0	0	0	0
宮崎県	21	6	25	5	26	3	0	0	0	0
鹿児島県	42	11	51	12	48	9	0	0	1	0
沖縄県	22	14	106	23	53	15	0	0	0	0
合計	1,624	305	1,987	388	1,800	365	193	9	65	0

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-B-2 甲状腺機能低下症 (E03.9)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
E03.9 甲状腺機能低下症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	49	0.045	51	0.049	42	0.041	5	0.005	0	0.000
青森県	11	0.036	4	0.014	6	0.022	0	0.000	0	0.000
岩手県	13	0.045	16	0.058	16	0.059	0	0.000	0	0.000
宮城県	13	0.027	26	0.055	23	0.050	0	0.000	0	0.000
秋田県	17	0.077	10	0.048	13	0.065	3	0.015	0	0.000
山形県	12	0.048	9	0.038	16	0.068	0	0.000	0	0.000
福島県	12	0.026	12	0.027	14	0.032	0	0.000	0	0.000
茨城県	5	0.008	1	0.002	9	0.016	1	0.002	0	0.000
栃木県	19	0.045	24	0.059	20	0.050	0	0.000	0	0.000
群馬県	21	0.051	4	0.010	25	0.064	3	0.008	0	0.000
埼玉県	145	0.104	166	0.120	173	0.127	12	0.009	2	0.001
千葉県	37	0.032	33	0.029	43	0.038	0	0.000	0	0.000
東京都	136	0.065	250	0.118	118	0.055	0	0.000	0	0.000
神奈川県	29	0.017	66	0.040	32	0.019	7	0.004	4	0.002
新潟県	16	0.033	20	0.042	21	0.046	3	0.007	3	0.007
富山県	16	0.075	14	0.067	14	0.069	3	0.015	4	0.020
石川県	19	0.079	31	0.132	33	0.143	0	0.000	0	0.000
福井県	11	0.063	8	0.047	12	0.072	0	0.000	0	0.000
山梨県	6	0.032	9	0.050	7	0.040	2	0.011	2	0.012
長野県	42	0.093	42	0.096	77	0.181	0	0.000	0	0.000
岐阜県	22	0.050	27	0.063	19	0.046	0	0.000	0	0.000
静岡県	74	0.097	88	0.118	24	0.033	0	0.000	0	0.000
愛知県	85	0.057	107	0.073	99	0.068	20	0.014	9	0.006
三重県	13	0.034	14	0.038	1	0.003	0	0.000	0	0.000
滋賀県	33	0.110	38	0.128	38	0.130	25	0.086	16	0.055
京都府	12	0.024	79	0.158	108	0.219	0	0.000	0	0.000
大阪府	78	0.046	147	0.086	150	0.088	6	0.004	1	0.001
兵庫県	84	0.075	9	0.008	58	0.054	0	0.000	1	0.001
奈良県	40	0.138	38	0.136	52	0.193	1	0.004	0	0.000
和歌山県	22	0.105	25	0.123	6	0.031	0	0.000	0	0.000
鳥取県	8	0.063	8	0.065	8	0.067	0	0.000	0	0.000
島根県	19	0.128	43	0.303	36	0.265	0	0.000	0	0.000
岡山県	44	0.110	47	0.120	44	0.115	0	0.000	0	0.000
広島県	116	0.202	64	0.114	79	0.143	66	0.120	15	0.027
山口県	34	0.116	27	0.096	18	0.066	0	0.000	0	0.000
徳島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
香川県	15	0.075	13	0.066	16	0.083	0	0.000	0	0.000
愛媛県	55	0.188	70	0.248	62	0.228	0	0.000	0	0.000
高知県	17	0.111	23	0.154	19	0.130	13	0.092	6	0.044
福岡県	64	0.062	64	0.064	67	0.068	0	0.000	0	0.000
佐賀県	9	0.046	5	0.026	8	0.043	6	0.033	1	0.006
長崎県	26	0.081	24	0.077	11	0.037	0	0.000	0	0.000
熊本県	35	0.089	38	0.099	33	0.088	17	0.046	0	0.000
大分県	5	0.020	11	0.046	3	0.013	0	0.000	0	0.000
宮崎県	21	0.083	25	0.102	26	0.110	0	0.000	0	0.000
鹿児島県	42	0.111	51	0.138	48	0.133	0	0.000	1	0.003
沖縄県	22	0.062	106	0.303	53	0.155	0	0.000	0	0.000
合計	1,624	0.064	1,987	0.080	1,800	0.073	193	0.008	65	0.003

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-C-1 慢性甲状腺炎 (E06.3)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E06.3 慢性甲状腺炎

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	109	32	103	25	73	9	79	16	75	10
青森県	19	4	3	2	6	3	14	3	20	4
岩手県	16	6	17	3	11	0	19	4	0	0
宮城県	20	3	23	5	18	4	23	4	22	3
秋田県	15	1	12	1	11	2	14	0	13	1
山形県	11	4	8	1	7	3	9	1	11	2
福島県	46	10	44	11	30	4	20	1	18	2
茨城県	4	4	10	9	3	3	11	1	14	2
栃木県	10	1	10	2	6	3	10	1	2	1
群馬県	6	0	5	5	15	0	24	6	23	3
埼玉県	32	6	26	6	41	14	39	3	34	5
千葉県	49	11	54	16	41	9	26	4	20	1
東京都	61	18	60	19	71	23	50	2	44	10
神奈川県	23	5	61	9	24	5	45	3	37	5
新潟県	19	0	16	2	16	3	15	4	14	4
富山県	18	3	18	3	19	3	9	4	16	6
石川県	9	1	10	1	14	4	13	4	13	3
福井県	10	2	10	2	8	1	4	0	0	0
山梨県	2	1	2	1	1	0	1	0	2	1
長野県	18	4	16	3	20	4	14	1	13	0
岐阜県	20	7	14	3	19	5	19	1	20	5
静岡県	12	1	22	0	16	8	34	6	30	2
愛知県	41	8	50	13	46	11	37	9	43	6
三重県	17	1	19	1	1	1	3	0	9	0
滋賀県	12	3	13	2	15	2	19	2	13	2
京都府	5	1	28	5	35	8	32	3	11	0
大阪府	127	34	143	33	158	38	78	13	50	10
兵庫県	63	18	18	17	51	15	50	8	45	2
奈良県	20	4	18	1	14	1	10	0	5	1
和歌山県	18	3	14	1	5	1	11	2	12	3
鳥取県	4	1	4	0	3	0	4	1	3	0
島根県	12	4	22	4	19	2	13	1	21	0
岡山県	9	1	12	4	10	2	21	1	21	1
広島県	37	5	37	6	39	4	23	4	25	5
山口県	6	0	7	1	1	0	10	0	12	0
徳島県	0	0	4	2	4	1	3	1	3	0
香川県	9	2	11	0	10	1	5	0	5	0
愛媛県	15	3	12	2	15	2	14	2	11	0
高知県	22	5	21	3	20	5	17	2	11	6
福岡県	36	8	33	7	37	6	39	10	48	9
佐賀県	5	0	6	2	5	0	10	2	13	2
長崎県	17	0	18	4	3	0	10	4	6	1
熊本県	16	6	13	3	14	5	17	3	0	0
大分県	12	2	7	2	9	5	9	4	18	3
宮崎県	13	3	17	2	11	2	19	2	21	3
鹿児島県	22	0	17	2	15	2	22	3	28	8
沖縄県	4	0	6	2	10	4	20	5	23	5
合計	1,071	236	1,094	248	1,020	228	988	151	898	137

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-C-2 慢性甲状腺炎 (E06.3)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E06.3 慢性甲状腺炎

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	109	0.101	103	0.099	73	0.072	79	0.078	75	0.076
青森県	19	0.063	3	0.010	6	0.022	14	0.051	20	0.075
岩手県	16	0.056	17	0.061	11	0.040	19	0.073	0	0.000
宮城県	20	0.041	23	0.048	18	0.039	23	0.050	22	0.049
秋田県	15	0.068	12	0.057	11	0.055	14	0.071	13	0.068
山形県	11	0.044	8	0.033	7	0.030	9	0.039	11	0.049
福島県	46	0.100	44	0.098	30	0.069	20	0.047	18	0.043
茨城県	4	0.006	10	0.017	3	0.005	11	0.019	14	0.024
栃木県	10	0.024	10	0.025	6	0.015	10	0.026	2	0.005
群馬県	6	0.015	5	0.012	15	0.038	24	0.061	23	0.059
埼玉県	32	0.023	26	0.019	41	0.030	39	0.029	34	0.025
千葉県	49	0.042	54	0.047	41	0.036	26	0.023	20	0.018
東京都	61	0.029	60	0.028	71	0.033	50	0.025	44	0.022
神奈川県	23	0.014	61	0.037	24	0.014	45	0.028	37	0.023
新潟県	19	0.039	16	0.034	16	0.035	15	0.033	14	0.031
富山県	18	0.084	18	0.087	19	0.094	9	0.045	16	0.080
石川県	9	0.038	10	0.043	14	0.061	13	0.057	13	0.058
福井県	10	0.057	10	0.059	8	0.048	4	0.025	0	0.000
山梨県	2	0.011	2	0.011	1	0.006	1	0.006	2	0.012
長野県	18	0.040	16	0.037	20	0.047	14	0.033	13	0.031
岐阜県	20	0.046	14	0.033	19	0.046	19	0.045	20	0.049
静岡県	12	0.016	22	0.030	16	0.022	34	0.047	30	0.042
愛知県	41	0.028	50	0.034	46	0.031	37	0.026	43	0.030
三重県	17	0.045	19	0.051	1	0.003	3	0.008	9	0.025
滋賀県	12	0.040	13	0.044	15	0.051	19	0.065	13	0.045
京都府	5	0.010	28	0.056	35	0.071	32	0.065	11	0.023
大阪府	127	0.074	143	0.084	158	0.093	78	0.047	50	0.030
兵庫県	63	0.056	18	0.016	51	0.047	50	0.046	45	0.042
奈良県	20	0.069	18	0.064	14	0.052	10	0.036	5	0.018
和歌山県	18	0.086	14	0.069	5	0.026	11	0.056	12	0.062
鳥取県	4	0.031	4	0.033	3	0.025	4	0.034	3	0.026
島根県	12	0.081	22	0.155	19	0.140	13	0.094	21	0.156
岡山県	9	0.023	12	0.031	10	0.026	21	0.055	21	0.056
広島県	37	0.064	37	0.066	39	0.071	23	0.042	25	0.046
山口県	6	0.021	7	0.025	1	0.004	10	0.037	12	0.045
徳島県	0	0.000	4	0.026	4	0.026	3	0.020	3	0.021
香川県	9	0.045	11	0.056	10	0.052	5	0.026	5	0.026
愛媛県	15	0.051	12	0.043	15	0.055	14	0.051	11	0.041
高知県	22	0.144	21	0.141	20	0.137	17	0.121	11	0.080
福岡県	36	0.035	33	0.033	37	0.037	39	0.040	48	0.049
佐賀県	5	0.026	6	0.031	5	0.027	10	0.056	13	0.073
長崎県	17	0.053	18	0.058	3	0.010	10	0.034	6	0.021
熊本県	16	0.041	13	0.034	14	0.037	17	0.046	0	0.000
大分県	12	0.049	7	0.029	9	0.039	9	0.040	18	0.080
宮崎県	13	0.051	17	0.070	11	0.047	19	0.082	21	0.093
鹿児島県	22	0.058	17	0.046	15	0.042	22	0.063	28	0.081
沖縄県	4	0.011	6	0.017	10	0.029	20	0.058	23	0.067
合計	1,071	0.042	1,094	0.044	1,020	0.042	988	0.041	898	0.038

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-D-1 甲状腺機能亢進症 (E05.0)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E05.0 甲状腺機能亢進症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規								
北海道	191	38	191	39	165	40	210	35	175	27
青森県	59	10	11	11	20	15	58	6	48	5
岩手県	41	12	49	15	40	10	54	9	0	0
宮城県	70	19	71	23	62	10	68	19	74	13
秋田県	33	7	25	7	30	8	37	2	41	8
山形県	25	4	22	4	28	7	27	4	30	5
福島県	49	14	55	19	55	11	64	11	62	13
茨城県	5	5	23	23	17	17	63	17	38	7
栃木県	29	8	23	3	21	8	34	9	17	7
群馬県	22	0	9	9	46	10	35	7	44	11
埼玉県	131	36	135	27	154	39	194	37	195	33
千葉県	112	20	107	29	99	20	40	8	39	7
東京都	169	49	200	51	178	46	258	59	235	45
神奈川県	67	10	176	18	59	14	142	23	110	16
新潟県	49	6	58	20	51	10	59	12	57	8
富山県	23	3	20	4	22	5	31	24	29	3
石川県	33	6	35	5	42	10	41	18	37	8
福井県	18	0	22	5	26	6	26	6	0	0
山梨県	16	6	15	2	16	3	15	0	18	6
長野県	45	6	45	8	48	8	47	6	46	10
岐阜県	33	10	34	7	37	17	51	7	59	13
静岡県	52	5	76	15	41	17	107	16	99	18
愛知県	129	22	134	27	127	31	151	35	146	21
三重県	41	10	44	10	3	3	20	0	44	9
滋賀県	49	14	48	9	50	13	55	6	45	2
京都府	32	11	87	14	120	31	89	4	35	0
大阪府	280	71	311	60	323	86	284	38	117	13
兵庫県	227	59	46	44	154	33	187	37	186	39
奈良県	45	17	43	10	48	17	43	4	43	10
和歌山県	46	11	40	9	10	5	51	11	34	5
鳥取県	19	6	19	1	19	6	17	1	17	3
島根県	18	4	31	6	27	4	24	0	29	2
岡山県	52	18	50	18	59	20	77	11	79	9
広島県	88	14	93	12	100	16	88	10	103	19
山口県	51	11	55	8	30	11	49	9	44	5
徳島県	0	0	38	8	31	4	34	6	30	5
香川県	40	12	41	12	39	8	15	1	21	3
愛媛県	51	6	55	14	50	11	50	10	49	10
高知県	38	16	29	2	31	9	38	8	11	2
福岡県	126	29	137	26	122	19	112	29	125	35
佐賀県	61	10	66	11	62	4	61	12	59	6
長崎県	60	13	68	17	12	3	41	14	21	7
熊本県	82	26	76	19	40	18	80	23	0	0
大分県	45	13	40	24	27	15	29	13	44	12
宮崎県	73	21	75	21	65	11	80	19	85	14
鹿児島県	88	14	95	24	102	20	95	15	86	18
沖縄県	38	6	44	18	47	10	53	17	60	11
合計	3,051	708	3,167	768	2,955	739	3,484	668	2,966	523

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-D-2 甲状腺機能亢進症 (E05.0)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
E05.0 甲状腺機能亢進症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	191	0.177	191	0.183	165	0.163	210	0.208	175	0.178
青森県	59	0.195	11	0.038	20	0.072	58	0.211	48	0.180
岩手県	41	0.143	49	0.176	40	0.147	54	0.206	0	0.000
宮城県	70	0.144	71	0.149	62	0.134	68	0.147	74	0.164
秋田県	33	0.150	25	0.119	30	0.149	37	0.187	41	0.214
山形県	25	0.101	22	0.092	28	0.120	27	0.117	30	0.133
福島県	49	0.107	55	0.123	55	0.126	64	0.151	62	0.149
茨城県	5	0.008	23	0.038	17	0.029	63	0.108	38	0.066
栃木県	29	0.069	23	0.057	21	0.053	34	0.087	17	0.044
群馬県	22	0.054	9	0.022	46	0.118	35	0.089	44	0.113
埼玉県	131	0.094	135	0.097	154	0.113	194	0.143	195	0.145
千葉県	112	0.096	107	0.093	99	0.087	40	0.036	39	0.035
東京都	169	0.081	200	0.094	178	0.082	258	0.130	235	0.116
神奈川県	67	0.040	176	0.106	59	0.035	142	0.088	110	0.068
新潟県	49	0.100	58	0.123	51	0.112	59	0.129	57	0.128
富山県	23	0.107	20	0.096	22	0.109	31	0.154	29	0.145
石川県	33	0.138	35	0.150	42	0.183	41	0.179	37	0.164
福井県	18	0.103	22	0.129	26	0.157	26	0.160	0	0.000
山梨県	16	0.086	15	0.084	16	0.091	15	0.086	18	0.105
長野県	45	0.100	45	0.103	48	0.113	47	0.112	46	0.110
岐阜県	33	0.075	34	0.079	37	0.089	51	0.122	59	0.143
静岡県	52	0.068	76	0.102	41	0.056	107	0.147	99	0.138
愛知県	129	0.087	134	0.091	127	0.087	151	0.104	146	0.101
三重県	41	0.108	44	0.119	3	0.008	20	0.055	44	0.122
滋賀県	49	0.163	48	0.162	50	0.171	55	0.189	45	0.155
京都府	32	0.063	87	0.174	120	0.243	89	0.182	35	0.073
大阪府	280	0.163	311	0.183	323	0.191	284	0.172	117	0.071
兵庫県	227	0.202	46	0.042	154	0.142	187	0.173	186	0.173
奈良県	45	0.155	43	0.154	48	0.178	43	0.155	43	0.159
和歌山県	46	0.219	40	0.197	10	0.051	51	0.262	34	0.176
鳥取県	19	0.150	19	0.154	19	0.160	17	0.145	17	0.148
島根県	18	0.122	31	0.218	27	0.199	24	0.173	29	0.215
岡山県	52	0.130	50	0.128	59	0.154	77	0.202	79	0.211
広島県	88	0.153	93	0.165	100	0.181	88	0.159	103	0.188
山口県	51	0.175	55	0.195	30	0.110	49	0.182	44	0.165
徳島県	0	0.000	38	0.245	31	0.204	34	0.231	30	0.207
香川県	40	0.200	41	0.209	39	0.202	15	0.079	21	0.111
愛媛県	51	0.175	55	0.195	50	0.184	50	0.182	49	0.182
高知県	38	0.248	29	0.195	31	0.212	38	0.270	11	0.080
福岡県	126	0.123	137	0.136	122	0.124	112	0.114	125	0.129
佐賀県	61	0.311	66	0.346	62	0.335	61	0.339	59	0.331
長崎県	60	0.186	68	0.219	12	0.040	41	0.139	21	0.073
熊本県	82	0.209	76	0.198	40	0.107	80	0.218	0	0.000
大分県	45	0.184	40	0.167	27	0.116	29	0.128	44	0.195
宮崎県	73	0.289	75	0.307	65	0.275	80	0.345	85	0.374
鹿児島県	88	0.232	95	0.257	102	0.283	95	0.270	86	0.249
沖縄県	38	0.107	44	0.126	47	0.137	53	0.154	60	0.176
合計	3,051	0.121	3,167	0.127	2,955	0.121	3,484	0.145	2,966	0.124

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表II-E-1 先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

E25.0 先天性副腎(皮質)過形成

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規								
北海道	30	4	34	5	26	3	5	0	0	0
青森県	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0
岩手県	12	3	9	1	8	0	0	0	0	0
宮城県	16	2	17	0	16	1	0	0	0	0
秋田県	6	0	5	0	8	2	4	0	0	0
山形県	6	0	8	1	10	3	0	0	0	0
福島県	25	4	21	1	16	1	0	0	0	0
茨城県	3	3	1	1	5	3	0	0	1	0
栃木県	7	0	7	0	6	2	0	0	0	0
群馬県	10	0	2	2	15	2	1	0	0	0
埼玉県	55	2	56	5	60	5	11	0	7	0
千葉県	44	1	47	1	31	2	0	0	0	0
東京都	59	4	59	3	56	2	0	0	0	0
神奈川県	23	3	45	3	15	0	13	0	9	0
新潟県	24	4	26	3	20	0	1	0	1	0
富山県	14	1	13	0	13	1	6	0	6	0
石川県	11	0	12	0	12	0	0	0	0	0
福井県	5	1	7	2	6	0	0	0	0	0
山梨県	8	0	8	1	8	1	8	0	8	0
長野県	6	0	7	1	11	3	0	0	0	0
岐阜県	16	1	17	0	11	1	0	0	0	0
静岡県	24	1	42	6	20	2	0	0	0	0
愛知県	37	7	42	6	34	4	6	0	5	0
三重県	11	3	11	3	0	0	0	0	0	0
滋賀県	16	1	16	3	13	0	12	0	11	0
京都府	6	1	27	4	28	6	0	0	0	0
大阪府	80	11	76	5	80	7	14	0	0	0
兵庫県	40	3	0	0	35	2	0	0	0	0
奈良県	13	3	17	3	15	3	1	0	1	0
和歌山県	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	6	0	6	1	7	0	0	0	0	0
島根県	11	2	14	0	13	1	0	0	0	0
岡山県	15	1	13	2	13	1	3	0	3	0
広島県	35	1	30	2	29	1	23	1	10	0
山口県	14	1	12	0	11	2	0	0	0	0
徳島県	0	0	11	0	11	0	10	0	10	0
香川県	8	0	8	1	7	0	0	0	0	0
愛媛県	21	1	18	1	17	0	0	0	0	0
高知県	14	1	13	0	9	1	5	2	4	0
福岡県	57	7	62	6	56	1	0	0	0	0
佐賀県	5	0	5	1	3	0	1	0	0	0
長崎県	14	0	18	0	4	0	0	0	0	0
熊本県	20	1	16	1	8	1	3	0	0	0
大分県	17	0	6	2	8	3	0	0	0	0
宮崎県	12	0	14	0	13	0	0	0	0	0
鹿児島県	19	4	18	4	17	3	0	0	1	0
沖縄県	10	1	10	1	11	2	0	0	0	0
合計	894	83	908	82	816	73	127	3	77	0

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-E-2 先天性副腎（皮質）過形成（E25.0）

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合（総数/20歳未満人口×10⁻³）の推移
E25.0 先天性副腎(皮質)過形成

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	30	0.028	34	0.033	26	0.026	5	0.005	0	0.000
青森県	7	0.023	0	0.000	1	0.004	0	0.000	0	0.000
岩手県	12	0.042	9	0.032	8	0.029	0	0.000	0	0.000
宮城県	16	0.033	17	0.036	16	0.034	0	0.000	0	0.000
秋田県	6	0.027	5	0.024	8	0.040	4	0.020	0	0.000
山形県	6	0.024	8	0.033	10	0.043	0	0.000	0	0.000
福島県	25	0.055	21	0.047	16	0.037	0	0.000	0	0.000
茨城県	3	0.005	1	0.002	5	0.009	0	0.000	1	0.002
栃木県	7	0.017	7	0.017	6	0.015	0	0.000	0	0.000
群馬県	10	0.024	2	0.005	15	0.038	1	0.003	0	0.000
埼玉県	55	0.039	56	0.040	60	0.044	11	0.008	7	0.005
千葉県	44	0.038	47	0.041	31	0.027	0	0.000	0	0.000
東京都	59	0.028	59	0.028	56	0.026	0	0.000	0	0.000
神奈川県	23	0.014	45	0.027	15	0.009	13	0.008	9	0.006
新潟県	24	0.049	26	0.055	20	0.044	1	0.002	1	0.002
富山県	14	0.065	13	0.063	13	0.064	6	0.030	6	0.030
石川県	11	0.046	12	0.051	12	0.052	0	0.000	0	0.000
福井県	5	0.029	7	0.041	6	0.036	0	0.000	0	0.000
山梨県	8	0.043	8	0.045	8	0.046	8	0.046	8	0.047
長野県	6	0.013	7	0.016	11	0.026	0	0.000	0	0.000
岐阜県	16	0.037	17	0.040	11	0.026	0	0.000	0	0.000
静岡県	24	0.031	42	0.056	20	0.028	0	0.000	0	0.000
愛知県	37	0.025	42	0.029	34	0.023	6	0.004	5	0.003
三重県	11	0.029	11	0.030	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	16	0.053	16	0.054	13	0.044	12	0.041	11	0.038
京都府	6	0.012	27	0.054	28	0.057	0	0.000	0	0.000
大阪府	80	0.047	76	0.045	80	0.047	14	0.008	0	0.000
兵庫県	40	0.036	0	0.000	35	0.032	0	0.000	0	0.000
奈良県	13	0.045	17	0.061	15	0.056	1	0.004	1	0.004
和歌山県	2	0.010	2	0.010	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	6	0.047	6	0.049	7	0.059	0	0.000	0	0.000
島根県	11	0.074	14	0.099	13	0.096	0	0.000	0	0.000
岡山県	15	0.038	13	0.033	13	0.034	3	0.008	3	0.008
広島県	35	0.061	30	0.053	29	0.053	23	0.042	10	0.018
山口県	14	0.048	12	0.043	11	0.040	0	0.000	0	0.000
徳島県	0	0.000	11	0.071	11	0.072	10	0.068	10	0.069
香川県	8	0.040	8	0.041	7	0.036	0	0.000	0	0.000
愛媛県	21	0.072	18	0.064	17	0.063	0	0.000	0	0.000
高知県	14	0.092	13	0.087	9	0.062	5	0.035	4	0.029
福岡県	57	0.056	62	0.062	56	0.057	0	0.000	0	0.000
佐賀県	5	0.026	5	0.026	3	0.016	1	0.006	0	0.000
長崎県	14	0.043	18	0.058	4	0.013	0	0.000	0	0.000
熊本県	20	0.051	16	0.042	8	0.021	3	0.008	0	0.000
大分県	17	0.069	6	0.025	8	0.034	0	0.000	0	0.000
宮崎県	12	0.047	14	0.057	13	0.055	0	0.000	0	0.000
鹿児島県	19	0.050	18	0.049	17	0.047	0	0.000	1	0.003
沖縄県	10	0.028	10	0.029	11	0.032	0	0.000	0	0.000
合計	894	0.035	908	0.036	816	0.033	127	0.005	77	0.003

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-F-1 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A)
都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E25.0A 21水酸化酵素欠損症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規								
北海道	11	0	12	1	13	0	26	2	33	0
青森県	2	0	0	0	2	0	11	1	7	0
岩手県	1	0	2	0	2	1	7	1	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	14	0	16	1
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	0	0	0	0	0	0	10	0	12	2
福島県	0	0	0	0	0	0	5	1	5	0
茨城県	0	0	0	0	0	0	3	0	5	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0	14	1	15	1
埼玉県	0	0	1	0	0	0	24	1	14	0
千葉県	1	0	0	0	0	0	0	0	9	0
東京都	0	0	1	0	1	1	73	1	71	3
神奈川県	0	0	0	0	0	0	13	1	33	2
新潟県	1	0	2	0	1	0	14	1	13	1
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	1	0	1	0	1	0	5	4	7	1
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	1	0	1	0	2	0	3	0	2	0
長野県	3	1	4	0	4	0	6	0	6	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	19	2	17	0
静岡県	0	0	1	1	0	0	31	3	26	1
愛知県	9	0	10	0	9	0	13	1	10	0
三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滋賀県	1	0	1	0	0	0	5	1	5	0
京都府	1	0	0	0	2	1	4	1	6	0
大阪府	5	0	4	0	3	0	48	0	34	5
兵庫県	2	0	0	0	1	0	42	4	46	1
奈良県	4	0	3	0	3	0	3	0	19	1
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	2	0	2	0	0	0	5	1	9	0
島根県	1	0	1	0	1	0	1	0	16	0
岡山県	0	0	1	0	0	0	9	0	21	1
広島県	0	0	0	0	0	0	14	2	21	2
山口県	0	0	0	0	0	0	7	0	15	0
徳島県	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
香川県	0	0	1	0	0	0	5	0	6	0
愛媛県	1	0	0	0	0	0	9	0	12	3
高知県	1	0	1	0	1	0	10	0	0	0
福岡県	2	1	3	1	2	0	26	6	46	0
佐賀県	1	0	1	0	2	1	2	0	4	1
長崎県	1	0	1	0	0	0	5	0	5	0
熊本県	6	0	5	0	3	1	15	1	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	8	0	16	0
宮崎県	1	1	0	0	0	0	9	1	8	0
鹿児島県	4	1	9	0	13	2	33	3	36	5
沖縄県	0	0	0	0	0	0	10	0	9	0
合計	63	4	69	3	66	7	564	40	636	31

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-F-2 21 水酸化酵素欠損症 (E25.0A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口×10⁻³)の推移
E25.0A 21水酸化酵素欠損症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	11	0.010	12	0.011	13	0.013	26	0.026	33	0.034
青森県	2	0.007	0	0.000	2	0.007	11	0.040	7	0.026
岩手県	1	0.003	2	0.007	2	0.007	7	0.027	0	0.000
宮城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.030	16	0.035
秋田県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山形県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	10	0.043	12	0.053
福島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	5	0.012	5	0.012
茨城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.005	5	0.009
栃木県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.005	0	0.000
群馬県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.035	15	0.039
埼玉県	0	0.000	1	0.001	0	0.000	24	0.018	14	0.010
千葉県	1	0.001	0	0.000	0	0.000	0	0.000	9	0.008
東京都	0	0.000	1	0.000	1	0.000	73	0.037	71	0.035
神奈川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	13	0.008	33	0.021
新潟県	1	0.002	2	0.004	1	0.002	14	0.031	13	0.029
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
石川県	1	0.004	1	0.004	1	0.004	5	0.022	7	0.031
福井県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山梨県	1	0.005	1	0.006	2	0.011	3	0.017	2	0.012
長野県	3	0.007	4	0.009	4	0.009	6	0.014	6	0.014
岐阜県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	19	0.045	17	0.041
静岡県	0	0.000	1	0.001	0	0.000	31	0.043	26	0.036
愛知県	9	0.006	10	0.007	9	0.006	13	0.009	10	0.007
三重県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
滋賀県	1	0.003	1	0.003	0	0.000	5	0.017	5	0.017
京都府	1	0.002	0	0.000	2	0.004	4	0.008	6	0.012
大阪府	5	0.003	4	0.002	3	0.002	48	0.029	34	0.021
兵庫県	2	0.002	0	0.000	1	0.001	42	0.039	46	0.043
奈良県	4	0.014	3	0.011	3	0.011	3	0.011	19	0.070
和歌山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
鳥取県	2	0.016	2	0.016	0	0.000	5	0.043	9	0.078
島根県	1	0.007	1	0.007	1	0.007	1	0.007	16	0.119
岡山県	0	0.000	1	0.003	0	0.000	9	0.024	21	0.056
広島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.025	21	0.038
山口県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.026	15	0.056
徳島県	0	0.000	1	0.006	0	0.000	1	0.007	1	0.007
香川県	0	0.000	1	0.005	0	0.000	5	0.026	6	0.032
愛媛県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	9	0.033	12	0.045
高知県	1	0.007	1	0.007	1	0.007	10	0.071	0	0.000
福岡県	2	0.002	3	0.003	2	0.002	26	0.026	46	0.047
佐賀県	1	0.005	1	0.005	2	0.011	2	0.011	4	0.022
長崎県	1	0.003	1	0.003	0	0.000	5	0.017	5	0.017
熊本県	6	0.015	5	0.013	3	0.008	15	0.041	0	0.000
大分県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	8	0.035	16	0.071
宮崎県	1	0.004	0	0.000	0	0.000	9	0.039	8	0.035
鹿児島県	4	0.011	9	0.024	13	0.036	33	0.094	36	0.104
沖縄県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	10	0.029	9	0.026
合計	63	0.002	69	0.003	66	0.003	564	0.023	636	0.027

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-G-1 先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

E25.0B 先天性副腎リポイド過形成

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規								
北海道	2	0	0	0	2	0	7	1	4	0
青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
岩手県	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	0	0	0	0	1	0	5	1
山形県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
福島県	1	0	1	0	3	2	6	2	5	0
茨城県	0	0	1	1	0	0	14	1	13	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	1	0	7	2
群馬県	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0
埼玉県	1	0	1	0	2	0	29	2	38	4
千葉県	0	0	1	0	4	0	7	0	5	0
東京都	0	0	4	2	3	0	2	0	2	1
神奈川県	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0
新潟県	0	0	0	0	0	0	12	1	15	3
富山県	0	0	0	0	0	0	7	5	7	0
石川県	0	0	0	0	0	0	7	1	6	0
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	1	0	10	2	10	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
静岡県	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0
愛知県	2	0	1	0	1	0	27	2	28	4
三重県	1	1	0	0	0	0	3	0	9	0
滋賀県	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
京都府	0	0	1	0	0	0	8	0	4	0
大阪府	3	0	0	0	3	3	14	0	7	2
兵庫県	2	1	0	0	2	0	8	0	9	0
奈良県	0	0	0	0	0	0	9	2	0	0
和歌山県	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0
鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0
岡山県	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0
広島県	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0
山口県	1	0	0	0	1	0	19	0	6	3
徳島県	0	0	0	0	1	1	2	1	2	0
香川県	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0
愛媛県	1	0	1	0	1	0	6	0	5	0
高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福岡県	1	0	2	0	1	0	2	0	11	1
佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	19	3	17	4	30	7	247	20	217	22

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-G-2 先天性副腎リポイド過形成症 (E25.0B)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E25.0B 先天性副腎リポイド過形成

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	2	0.002	0	0.000	2	0.002	7	0.007	4	0.004
青森県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.011
岩手県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	5	0.019	0	0.000
宮城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
秋田県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.005	5	0.026
山形県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.004	0	0.000
福島県	1	0.002	1	0.002	3	0.007	6	0.014	5	0.012
茨城県	0	0.000	1	0.002	0	0.000	14	0.024	13	0.023
栃木県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.003	7	0.018
群馬県	1	0.002	0	0.000	1	0.003	1	0.003	1	0.003
埼玉県	1	0.001	1	0.001	2	0.001	29	0.021	38	0.028
千葉県	0	0.000	1	0.001	4	0.004	7	0.006	5	0.004
東京都	0	0.000	4	0.002	3	0.001	2	0.001	2	0.001
神奈川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.002	2	0.001
新潟県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	12	0.026	15	0.034
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.035	7	0.035
石川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.031	6	0.027
福井県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
山梨県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
長野県	0	0.000	0	0.000	1	0.002	10	0.024	10	0.024
岐阜県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.002	1	0.002
静岡県	0	0.000	1	0.001	0	0.000	1	0.001	2	0.003
愛知県	2	0.001	1	0.001	1	0.001	27	0.019	28	0.019
三重県	1	0.003	0	0.000	0	0.000	3	0.008	9	0.025
滋賀県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.003	1	0.003
京都府	0	0.000	1	0.002	0	0.000	8	0.016	4	0.008
大阪府	3	0.002	0	0.000	3	0.002	14	0.008	7	0.004
兵庫県	2	0.002	0	0.000	2	0.002	8	0.007	9	0.008
奈良県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	9	0.032	0	0.000
和歌山県	0	0.000	1	0.005	0	0.000	2	0.010	2	0.010
鳥取県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
島根県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	8	0.058	0	0.000
岡山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	11	0.029	0	0.000
広島県	1	0.002	1	0.002	1	0.002	2	0.004	2	0.004
山口県	1	0.003	0	0.000	1	0.004	19	0.071	6	0.023
徳島県	0	0.000	0	0.000	1	0.007	2	0.014	2	0.014
香川県	1	0.005	1	0.005	2	0.010	0	0.000	0	0.000
愛媛県	1	0.003	1	0.004	1	0.004	6	0.022	5	0.019
高知県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
福岡県	1	0.001	2	0.002	1	0.001	2	0.002	11	0.011
佐賀県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
長崎県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.007	0	0.000
熊本県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	4	0.011	0	0.000
大分県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.004	2	0.009
宮崎県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.013	3	0.013
鹿児島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
沖縄県	0	0.000	0	0.000	1	0.003	0	0.000	0	0.000
合計	19	0.001	17	0.001	30	0.001	247	0.010	217	0.009

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-H-1 思春期早発症 (E22.8)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E22.8 思春期早発症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	141	31	120	19	111	24	50	8	38	5
青森県	10	0	6	4	5	3	7	1	9	2
岩手県	24	6	24	5	19	2	7	1	0	0
宮城県	72	13	80	18	79	25	34	5	21	2
秋田県	17	4	13	4	13	3	12	0	6	0
山形県	31	7	30	5	30	7	7	1	7	1
福島県	43	9	47	15	45	14	33	10	30	6
茨城県	10	10	14	13	7	6	20	4	25	14
栃木県	32	3	39	13	34	7	26	6	13	5
群馬県	26	0	12	12	37	9	11	3	10	2
埼玉県	138	25	122	19	121	23	43	15	45	18
千葉県	73	18	87	25	65	12	11	1	8	0
東京都	154	35	172	38	153	35	96	22	85	13
神奈川県	39	7	128	20	50	16	55	5	51	13
新潟県	48	12	49	9	31	3	15	0	6	1
富山県	13	4	14	4	16	3	12	8	10	1
石川県	23	5	21	0	21	1	15	7	14	5
福井県	12	1	14	4	20	7	14	4	0	0
山梨県	42	17	33	6	34	9	20	7	12	1
長野県	31	5	37	8	34	8	14	3	12	4
岐阜県	13	1	17	7	15	2	4	0	4	1
静岡県	61	9	90	19	49	21	58	14	40	5
愛知県	140	19	142	24	116	21	34	11	22	9
三重県	19	3	23	6	0	0	2	0	2	1
滋賀県	39	8	33	3	31	9	27	3	18	0
京都府	3	1	37	12	37	8	13	1	5	1
大阪府	145	34	180	62	180	56	44	7	19	3
兵庫県	94	25	16	14	68	14	37	2	28	4
奈良県	17	6	19	6	22	8	10	1	12	4
和歌山県	23	4	17	3	8	4	3	0	2	1
鳥取県	23	5	24	1	18	1	17	2	10	1
島根県	24	5	34	4	27	3	12	4	12	1
岡山県	43	14	41	12	34	7	24	7	15	1
広島県	98	29	106	26	96	18	74	9	39	7
山口県	17	2	11	1	12	5	28	10	18	1
徳島県	0	0	12	3	11	1	7	3	4	0
香川県	16	5	19	6	20	3	1	1	3	1
愛媛県	17	4	17	1	13	0	2	2	3	1
高知県	31	8	29	3	20	2	14	3	4	1
福岡県	45	9	48	8	48	9	28	6	26	7
佐賀県	10	0	12	3	9	1	5	1	4	0
長崎県	30	5	31	7	20	6	18	7	10	0
熊本県	28	5	27	9	12	4	9	2	0	0
大分県	4	1	2	2	0	0	4	2	8	4
宮崎県	14	5	16	2	16	3	8	1	9	1
鹿児島県	19	2	16	2	15	3	5	1	6	4
沖縄県	93	30	103	32	104	25	45	14	50	12
合計	2,045	451	2,184	519	1,926	451	1,035	225	775	164

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-H-2 思春期早発症 (E22.8)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E22.8 思春期早発症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	141	0.131	120	0.115	111	0.109	50	0.049	38	0.039
青森県	10	0.033	6	0.021	5	0.018	7	0.025	9	0.034
岩手県	24	0.084	24	0.086	19	0.070	7	0.027	0	0.000
宮城県	72	0.148	80	0.168	79	0.170	34	0.074	21	0.047
秋田県	17	0.077	13	0.062	13	0.065	12	0.061	6	0.031
山形県	31	0.125	30	0.125	30	0.128	7	0.030	7	0.031
福島県	43	0.094	47	0.105	45	0.103	33	0.078	30	0.072
茨城県	10	0.016	14	0.023	7	0.012	20	0.034	25	0.043
栃木県	32	0.077	39	0.096	34	0.085	26	0.066	13	0.033
群馬県	26	0.063	12	0.030	37	0.095	11	0.028	10	0.026
埼玉県	138	0.099	122	0.088	121	0.089	43	0.032	45	0.034
千葉県	73	0.063	87	0.076	65	0.057	11	0.010	8	0.007
東京都	154	0.074	172	0.081	153	0.071	96	0.048	85	0.042
神奈川県	39	0.023	128	0.077	50	0.030	55	0.034	51	0.032
新潟県	48	0.098	49	0.104	31	0.068	15	0.033	6	0.013
富山県	13	0.061	14	0.067	16	0.079	12	0.060	10	0.050
石川県	23	0.096	21	0.090	21	0.091	15	0.066	14	0.062
福井県	12	0.069	14	0.082	20	0.120	14	0.086	0	0.000
山梨県	42	0.227	33	0.184	34	0.194	20	0.114	12	0.070
長野県	31	0.069	37	0.084	34	0.080	14	0.033	12	0.029
岐阜県	13	0.030	17	0.040	15	0.036	4	0.010	4	0.010
静岡県	61	0.080	90	0.121	49	0.067	58	0.080	40	0.056
愛知県	140	0.095	142	0.096	116	0.079	34	0.023	22	0.015
三重県	19	0.050	23	0.062	0	0.000	2	0.005	2	0.006
滋賀県	39	0.130	33	0.111	31	0.106	27	0.093	18	0.062
京都府	3	0.006	37	0.074	37	0.075	13	0.027	5	0.010
大阪府	145	0.085	180	0.106	180	0.106	44	0.027	19	0.012
兵庫県	94	0.084	16	0.014	68	0.063	37	0.034	28	0.026
奈良県	17	0.059	19	0.068	22	0.081	10	0.036	12	0.044
和歌山県	23	0.110	17	0.084	8	0.041	3	0.015	2	0.010
鳥取県	23	0.131	24	0.195	18	0.151	17	0.145	10	0.087
島根県	24	0.162	34	0.239	27	0.199	12	0.086	12	0.089
岡山県	43	0.108	41	0.105	34	0.089	24	0.063	15	0.040
広島県	98	0.170	106	0.188	96	0.174	74	0.134	39	0.071
山口県	17	0.058	11	0.039	12	0.044	28	0.104	18	0.068
徳島県	0	0.000	12	0.077	11	0.072	7	0.048	4	0.028
香川県	16	0.080	19	0.097	20	0.104	1	0.005	3	0.016
愛媛県	17	0.058	17	0.060	13	0.048	2	0.007	3	0.011
高知県	31	0.203	29	0.195	20	0.137	14	0.099	4	0.029
福岡県	45	0.044	48	0.048	48	0.049	28	0.028	26	0.027
佐賀県	10	0.051	12	0.063	9	0.049	5	0.028	4	0.022
長崎県	30	0.093	31	0.100	20	0.067	18	0.061	10	0.035
熊本県	28	0.071	27	0.070	12	0.032	9	0.025	0	0.000
大分県	4	0.016	2	0.008	0	0.000	4	0.018	8	0.035
宮崎県	14	0.055	16	0.066	16	0.068	8	0.034	9	0.040
鹿児島県	19	0.050	16	0.043	15	0.042	5	0.014	6	0.017
沖縄県	93	0.261	103	0.294	104	0.303	45	0.130	50	0.147
合計	2,045	0.081	2,184	0.088	1,926	0.079	1,035	0.043	775	0.032

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-I-1 中枢性思春期早発症（E22.8A）

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
E22.8A 中枢性思春期早発症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	0	0	0	0	0	0	32	13	27	3
青森県	0	0	0	0	0	0	7	0	5	0
岩手県	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
宮城県	0	0	0	0	0	0	46	7	41	6
秋田県	0	0	0	0	0	0	7	0	7	1
山形県	0	0	0	0	0	0	28	9	22	5
福島県	0	0	0	0	0	0	18	5	20	5
茨城県	0	0	0	0	0	0	11	0	9	3
栃木県	0	0	0	0	0	0	9	4	5	2
群馬県	0	0	0	0	0	0	23	4	27	7
埼玉県	0	0	0	0	0	0	69	7	75	19
千葉県	0	0	0	0	2	0	11	3	14	6
東京都	0	0	0	0	0	0	70	18	66	17
神奈川県	0	0	0	0	0	0	25	8	38	14
新潟県	0	0	0	0	0	0	14	4	13	5
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	0	0	0	0	5	2	2	0
福井県	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
山梨県	0	0	0	0	0	0	7	1	9	6
長野県	0	0	0	0	0	0	13	1	9	4
岐阜県	0	0	0	0	0	0	12	0	9	2
静岡県	0	0	0	0	0	0	47	5	36	11
愛知県	0	0	0	0	0	0	54	7	58	16
三重県	0	0	0	0	0	0	3	0	10	2
滋賀県	0	0	0	0	0	0	4	2	8	4
京都府	0	0	0	0	0	0	18	2	10	0
大阪府	0	0	0	0	0	0	60	12	26	13
兵庫県	0	0	0	0	0	0	29	6	26	5
奈良県	0	0	0	0	0	0	6	3	6	3
和歌山県	0	0	0	0	0	0	4	2	9	4
鳥取県	0	0	0	0	0	0	2	1	3	1
島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
岡山県	0	0	0	0	0	0	11	6	17	2
広島県	0	0	0	0	0	0	16	9	32	15
山口県	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0
徳島県	0	0	0	0	0	0	2	0	7	6
香川県	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1
愛媛県	0	0	0	0	0	0	5	3	10	2
高知県	0	0	0	0	0	0	12	3	5	2
福岡県	0	0	0	0	0	0	16	7	21	6
佐賀県	0	0	0	0	0	0	6	2	6	2
長崎県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
熊本県	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	0	0	0	0	0	0	6	0	12	5
鹿児島県	0	0	0	0	0	0	10	1	9	3
沖縄県	0	0	0	0	0	0	55	17	53	14
合計	0	0	0	0	2	0	788	176	771	223

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-I-2 中枢性思春期早発症 (E22.8A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
E22.8A 中枢性思春期早発症

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	0	0.000	0	0.000	0	0.000	32	0.032	27	0.027
青森県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.025	5	0.019
岩手県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.011	0	0.000
宮城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	46	0.100	41	0.091
秋田県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.035	7	0.036
山形県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	28	0.122	22	0.098
福島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	18	0.043	20	0.048
茨城県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	11	0.019	9	0.016
栃木県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	9	0.023	5	0.013
群馬県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	23	0.058	27	0.069
埼玉県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	69	0.051	75	0.056
千葉県	0	0.000	0	0.000	2	0.002	11	0.010	14	0.013
東京都	0	0.000	0	0.000	0	0.000	70	0.035	66	0.033
神奈川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	25	0.016	38	0.024
新潟県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	14	0.031	13	0.029
富山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
石川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	5	0.022	2	0.009
福井県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.012	0	0.000
山梨県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	7	0.040	9	0.053
長野県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	13	0.031	9	0.022
岐阜県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	12	0.029	9	0.022
静岡県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	47	0.065	36	0.050
愛知県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	54	0.037	58	0.040
三重県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.008	10	0.028
滋賀県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	4	0.014	8	0.027
京都府	0	0.000	0	0.000	0	0.000	18	0.037	10	0.021
大阪府	0	0.000	0	0.000	0	0.000	60	0.036	26	0.016
兵庫県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	29	0.027	26	0.024
奈良県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	6	0.022	6	0.022
和歌山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	4	0.021	9	0.047
鳥取県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.017	3	0.026
島根県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	3	0.022
岡山県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	11	0.029	17	0.045
広島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	16	0.029	32	0.059
山口県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.004	3	0.011
徳島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.014	7	0.048
香川県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	2	0.011	3	0.016
愛媛県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	5	0.018	10	0.037
高知県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	12	0.085	5	0.036
福岡県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	16	0.016	21	0.022
佐賀県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	6	0.033	6	0.034
長崎県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	1	0.003	0	0.000
熊本県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	6	0.016	0	0.000
大分県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000
宮崎県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	6	0.026	12	0.053
鹿児島県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	10	0.028	9	0.026
沖縄県	0	0.000	0	0.000	0	0.000	55	0.159	53	0.155
合計	0	0.000	0	0.000	2	0.000	788	0.033	771	0.032

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-J-1 ターナー (Turner) 症候群 (Q96)
都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移
Q96 ターナー (Turner) 症候群

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	49	5	49	2	45	8	47	2	37	1
青森県	14	2	0	0	0	0	4	2	11	0
岩手県	16	2	14	0	18	2	21	2	0	0
宮城県	29	4	27	5	25	4	23	2	23	2
秋田県	14	3	9	1	12	3	13	0	10	0
山形県	8	2	8	0	7	1	11	0	12	2
福島県	17	2	16	0	16	2	19	3	20	2
茨城県	22	4	23	10	1	0	9	2	3	0
栃木県	24	3	30	4	24	6	19	1	7	1
群馬県	11	0	2	2	15	6	20	2	16	0
埼玉県	62	14	48	9	54	4	78	12	87	12
千葉県	24	4	6	6	12	7	9	1	10	2
東京都	75	16	104	16	88	11	123	14	127	17
神奈川県	21	3	78	7	18	3	64	9	63	3
新潟県	27	4	27	4	20	2	25	4	21	3
富山県	9	1	10	0	5	0	9	4	9	1
石川県	2	0	5	2	3	1	4	3	5	1
福井県	5	0	8	1	8	2	4	0	0	0
山梨県	13	3	13	1	13	2	15	2	14	1
長野県	2	0	5	3	9	0	27	2	10	1
岐阜県	18	2	15	3	11	0	15	2	15	0
静岡県	28	0	27	2	14	3	30	2	27	7
愛知県	81	10	84	12	80	17	79	8	73	6
三重県	14	2	12	0	0	0	8	0	13	2
滋賀県	22	1	22	2	22	3	21	0	17	0
京都府	8	1	23	2	30	6	31	2	10	1
大阪府	95	15	101	12	111	19	94	9	43	5
兵庫県	63	10	7	7	46	8	63	6	70	7
奈良県	24	4	21	3	19	5	21	3	21	2
和歌山県	4	1	6	3	2	2	11	3	14	4
鳥取県	10	3	7	0	9	0	8	1	6	1
島根県	3	0	7	2	4	1	3	1	8	0
岡山県	10	2	9	0	10	2	12	2	19	4
広島県	21	1	20	1	20	1	23	0	20	4
山口県	15	0	12	0	7	1	11	0	9	0
徳島県	0	0	10	1	10	0	8	0	9	0
香川県	9	1	13	2	11	0	2	0	3	0
愛媛県	23	2	23	3	21	0	18	0	20	3
高知県	4	0	6	1	7	1	9	1	7	1
福岡県	47	10	41	2	42	4	19	3	23	3
佐賀県	7	0	12	5	12	1	8	0	4	0
長崎県	17	0	18	4	5	0	12	3	4	0
熊本県	20	3	21	3	13	3	25	4	0	0
大分県	10	2	2	0	5	2	3	1	9	1
宮崎県	15	4	12	0	17	4	20	3	21	3
鹿児島県	17	2	14	0	22	7	20	3	11	0
沖縄県	11	1	12	5	17	5	18	2	19	1
合計	1,040	149	1,039	148	960	159	1,136	126	980	104

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。
灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-J-2 ターナー（Turner）症候群（Q96）

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合（総数/20歳未満人口×10⁻³）の推移
 Q96 ターナー（Turner）症候群

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合	総数	割合
北海道	49	0.045	49	0.047	45	0.044	47	0.046	37	0.038
青森県	14	0.046	0	0.000	0	0.000	4	0.015	11	0.041
岩手県	16	0.056	14	0.050	18	0.066	21	0.080	0	0.000
宮城県	29	0.060	27	0.057	25	0.054	23	0.050	23	0.051
秋田県	14	0.064	9	0.043	12	0.060	13	0.066	10	0.052
山形県	8	0.032	8	0.033	7	0.030	11	0.048	12	0.053
福島県	17	0.037	16	0.036	16	0.037	19	0.045	20	0.048
茨城県	22	0.036	23	0.038	1	0.002	9	0.015	3	0.005
栃木県	24	0.057	30	0.074	24	0.060	19	0.048	7	0.018
群馬県	11	0.027	2	0.005	15	0.038	20	0.051	16	0.041
埼玉県	62	0.044	48	0.035	54	0.040	78	0.058	87	0.065
千葉県	24	0.021	6	0.005	12	0.011	9	0.008	10	0.009
東京都	75	0.036	104	0.049	88	0.041	123	0.062	127	0.063
神奈川県	21	0.013	78	0.047	18	0.011	64	0.040	63	0.039
新潟県	27	0.055	27	0.057	20	0.044	25	0.055	21	0.047
富山県	9	0.042	10	0.048	5	0.025	9	0.045	9	0.045
石川県	2	0.008	5	0.021	3	0.013	4	0.017	5	0.022
福井県	5	0.029	8	0.047	8	0.048	4	0.025	0	0.000
山梨県	13	0.070	13	0.073	13	0.074	15	0.086	14	0.082
長野県	2	0.004	5	0.011	9	0.021	27	0.064	10	0.024
岐阜県	18	0.041	15	0.035	11	0.026	15	0.036	15	0.036
静岡県	28	0.037	27	0.036	14	0.019	30	0.041	27	0.038
愛知県	81	0.055	84	0.057	80	0.055	79	0.055	73	0.050
三重県	14	0.037	12	0.033	0	0.000	8	0.022	13	0.036
滋賀県	22	0.073	22	0.074	22	0.075	21	0.072	17	0.058
京都府	8	0.016	23	0.046	30	0.061	31	0.063	10	0.021
大阪府	95	0.055	101	0.059	111	0.065	94	0.057	43	0.026
兵庫県	63	0.056	7	0.006	46	0.042	63	0.058	70	0.065
奈良県	24	0.083	21	0.075	19	0.070	21	0.076	21	0.077
和歌山県	4	0.019	6	0.030	2	0.010	11	0.056	14	0.073
鳥取県	10	0.079	7	0.057	9	0.076	8	0.068	6	0.052
島根県	3	0.020	7	0.049	4	0.029	3	0.022	8	0.059
岡山県	10	0.025	9	0.023	10	0.026	12	0.031	19	0.051
広島県	21	0.037	20	0.036	20	0.036	23	0.042	20	0.037
山口県	15	0.051	12	0.043	7	0.026	11	0.041	9	0.034
徳島県	0	0.000	10	0.065	10	0.066	8	0.054	9	0.062
香川県	9	0.045	13	0.066	11	0.057	2	0.011	3	0.016
愛媛県	23	0.079	23	0.082	21	0.077	18	0.066	20	0.074
高知県	4	0.026	6	0.040	7	0.048	9	0.064	7	0.051
福岡県	47	0.046	41	0.041	42	0.043	19	0.019	23	0.024
佐賀県	7	0.036	12	0.063	12	0.065	8	0.044	4	0.022
長崎県	17	0.053	18	0.058	5	0.017	12	0.041	4	0.014
熊本県	20	0.051	21	0.055	13	0.035	25	0.068	0	0.000
大分県	10	0.041	2	0.008	5	0.021	3	0.013	9	0.040
宮崎県	15	0.059	12	0.049	17	0.072	20	0.086	21	0.093
鹿児島県	17	0.045	14	0.038	22	0.061	20	0.057	11	0.032
沖縄県	11	0.031	12	0.034	17	0.050	18	0.052	19	0.056
合計	1,040	0.041	1,039	0.042	960	0.039	1,136	0.047	980	0.041

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
 灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-K-1 プラーダー・ウィルリ (Prader-Willi) 症候群 (Q87.1A)

都道府県別の登録患者数、新規登録患者数の推移

Q87.1A プラーダー・ウィルリ (Prader-Willi) 症候群

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規
北海道	24	1	24	3	26	9	24	1	22	3
青森県	7	1	2	2	0	0	5	0	9	1
岩手県	3	0	6	2	5	0	1	0	0	0
宮城県	5	1	7	3	9	3	8	1	9	1
秋田県	9	3	8	1	8	1	8	0	6	0
山形県	7	1	11	3	10	2	6	0	6	0
福島県	8	3	12	5	13	2	11	2	14	2
茨城県	3	3	3	2	1	1	1	0	1	0
栃木県	8	1	7	0	9	1	4	1	4	1
群馬県	6	0	0	0	8	1	8	0	9	0
埼玉県	27	5	25	1	31	4	30	5	35	10
千葉県	18	6	4	1	7	2	2	0	2	0
東京都	32	15	38	7	44	8	51	8	54	8
神奈川県	4	1	32	4	8	1	21	3	21	1
新潟県	10	1	11	1	6	1	8	3	7	3
富山県	4	3	5	2	4	0	5	1	5	1
石川県	2	1	1	0	0	0	3	1	3	1
福井県	2	1	2	1	3	0	1	0	0	0
山梨県	1	0	1	0	2	1	1	0	1	1
長野県	11	3	7	0	8	3	15	0	4	0
岐阜県	3	3	6	2	7	2	3	1	3	0
静岡県	26	2	33	4	15	4	37	1	24	4
愛知県	24	10	27	6	35	11	28	1	30	5
三重県	11	4	11	3	1	1	3	0	7	0
滋賀県	7	1	10	2	11	0	6	0	3	0
京都府	3	0	10	3	16	8	9	0	5	0
大阪府	42	8	45	3	46	6	24	3	10	1
兵庫県	18	10	6	4	16	0	13	2	12	0
奈良県	6	0	8	2	10	3	5	0	7	1
和歌山県	4	0	7	2	1	0	2	0	4	2
鳥取県	4	0	2	0	4	1	4	0	1	0
島根県	3	1	7	4	6	0	0	0	2	0
岡山県	11	4	11	3	10	1	10	1	10	0
広島県	15	3	12	0	14	2	9	1	13	1
山口県	3	0	4	0	1	0	5	0	3	0
徳島県	0	0	5	0	3	0	4	1	3	0
香川県	10	1	10	0	11	3	2	0	3	0
愛媛県	14	4	13	2	10	0	5	2	5	1
高知県	4	0	4	0	5	1	2	1	0	0
福岡県	15	6	17	7	16	3	9	3	10	2
佐賀県	3	0	5	2	4	1	3	1	3	0
長崎県	3	1	4	1	1	0	6	2	1	0
熊本県	7	1	7	1	3	0	1	0	0	0
大分県	5	1	3	2	3	2	2	1	6	0
宮崎県	1	0	2	1	2	0	2	0	3	1
鹿児島県	1	0	3	1	2	0	2	0	2	0
沖縄県	3	3	3	0	3	1	3	0	4	0
合計	437	113	481	93	458	90	412	47	386	51

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。

平成16年度から平成17年度にかけて患者数の増加した都道府県を黄色、減少した都道府県を水色で示した。

灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。

表Ⅱ-K-2 プラーダー・ヴィルリ (Prader-Willi) 症候群 (Q87.1A)

都道府県別の登録患者数と20歳未満人口における割合(総数/20歳未満人口 $\times 10^{-3}$)の推移
 Q87.1A プラーダー・ヴィルリ(Prader-Willi)症候群

	H14年		H15年		H16年		H17年		H18年	
	総数	割合								
北海道	24	0.022	24	0.023	26	0.026	24	0.024	22	0.022
青森県	7	0.023	2	0.007	0	0.000	5	0.018	9	0.034
岩手県	3	0.010	6	0.022	5	0.018	1	0.004	0	0.000
宮城県	5	0.010	7	0.015	9	0.019	8	0.017	9	0.020
秋田県	9	0.041	8	0.038	8	0.040	8	0.040	6	0.031
山形県	7	0.028	11	0.046	10	0.043	6	0.026	6	0.027
福島県	8	0.017	12	0.027	13	0.030	11	0.026	14	0.034
茨城県	3	0.005	3	0.005	1	0.002	1	0.002	1	0.002
栃木県	8	0.019	7	0.017	9	0.023	4	0.010	4	0.010
群馬県	6	0.015	0	0.000	8	0.021	8	0.020	9	0.023
埼玉県	27	0.019	25	0.018	31	0.023	30	0.022	35	0.026
千葉県	18	0.015	4	0.003	7	0.006	2	0.002	2	0.002
東京都	32	0.015	38	0.018	44	0.020	51	0.026	54	0.027
神奈川県	4	0.002	32	0.019	8	0.005	21	0.013	21	0.013
新潟県	10	0.020	11	0.023	6	0.013	8	0.018	7	0.016
富山県	4	0.019	5	0.024	4	0.020	5	0.025	5	0.025
石川県	2	0.008	1	0.004	0	0.000	3	0.013	3	0.013
福井県	2	0.011	2	0.012	3	0.018	1	0.006	0	0.000
山梨県	1	0.005	1	0.006	2	0.011	1	0.006	1	0.006
長野県	11	0.024	7	0.016	8	0.019	15	0.036	4	0.010
岐阜県	3	0.007	6	0.014	7	0.017	3	0.007	3	0.007
静岡県	26	0.034	33	0.044	15	0.021	37	0.051	24	0.033
愛知県	24	0.016	27	0.018	35	0.024	28	0.019	30	0.021
三重県	11	0.029	11	0.030	1	0.003	3	0.008	7	0.019
滋賀県	7	0.023	10	0.034	11	0.038	6	0.021	3	0.010
京都府	3	0.006	10	0.020	16	0.032	9	0.018	5	0.010
大阪府	42	0.025	45	0.026	46	0.027	24	0.015	10	0.006
兵庫県	18	0.016	6	0.005	16	0.015	13	0.012	12	0.011
奈良県	6	0.021	8	0.029	10	0.037	5	0.018	7	0.026
和歌山県	4	0.019	7	0.034	1	0.005	2	0.010	4	0.021
鳥取県	4	0.031	2	0.016	4	0.034	4	0.034	1	0.009
島根県	3	0.020	7	0.049	6	0.044	0	0.000	2	0.015
岡山県	11	0.028	11	0.028	10	0.026	10	0.026	10	0.027
広島県	15	0.026	12	0.021	14	0.025	9	0.016	13	0.024
山口県	3	0.010	4	0.014	1	0.004	5	0.019	3	0.011
徳島県	0	0.000	5	0.032	3	0.020	4	0.027	3	0.021
香川県	10	0.050	10	0.051	11	0.057	2	0.011	3	0.016
愛媛県	14	0.048	13	0.046	10	0.037	5	0.018	5	0.019
高知県	4	0.026	4	0.027	5	0.034	2	0.014	0	0.000
福岡県	15	0.015	17	0.017	16	0.016	9	0.009	10	0.010
佐賀県	3	0.015	5	0.026	4	0.022	3	0.017	3	0.017
長崎県	3	0.009	4	0.013	1	0.003	6	0.020	1	0.003
熊本県	7	0.018	7	0.018	3	0.008	1	0.003	0	0.000
大分県	5	0.020	3	0.013	3	0.013	2	0.009	6	0.027
宮崎県	1	0.004	2	0.008	2	0.008	2	0.009	3	0.013
鹿児島県	1	0.003	3	0.008	2	0.006	2	0.006	2	0.006
沖縄県	3	0.008	3	0.009	3	0.009	3	0.009	4	0.012
合計	437	0.017	481	0.019	458	0.019	412	0.017	386	0.016

政令指定都市、中核市と都道府県からの報告を都道府県別に集計した。
 赤色は全国平均の+1.5SD以上。青色は全国平均の-1.5SD未満。
 灰色の都道府県は、平成16年あるいは平成17年においてデータ不足がある。